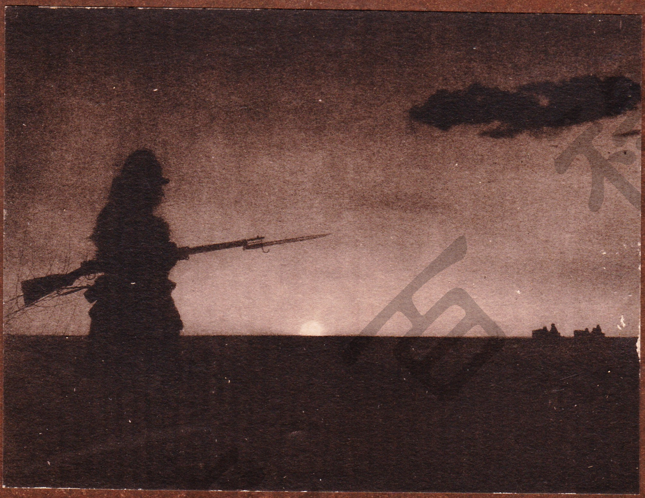
滿洲事變寫眞帖



埔里文庫

PDF-XChange Editor
Click to BUY NOW!
www.tracker-software.com

PDF-XChange Editor
Click to BUY NOW!
www.tracker-software.com

滿洲事變寫眞帖

2592年

埔里 李百祿 文庫
古建築收拾大隊協力

埔里文庫

贈　　呈

南滿洲鐵道株式會社

總裁　伯爵

林　博太郎

埔里文庫

085

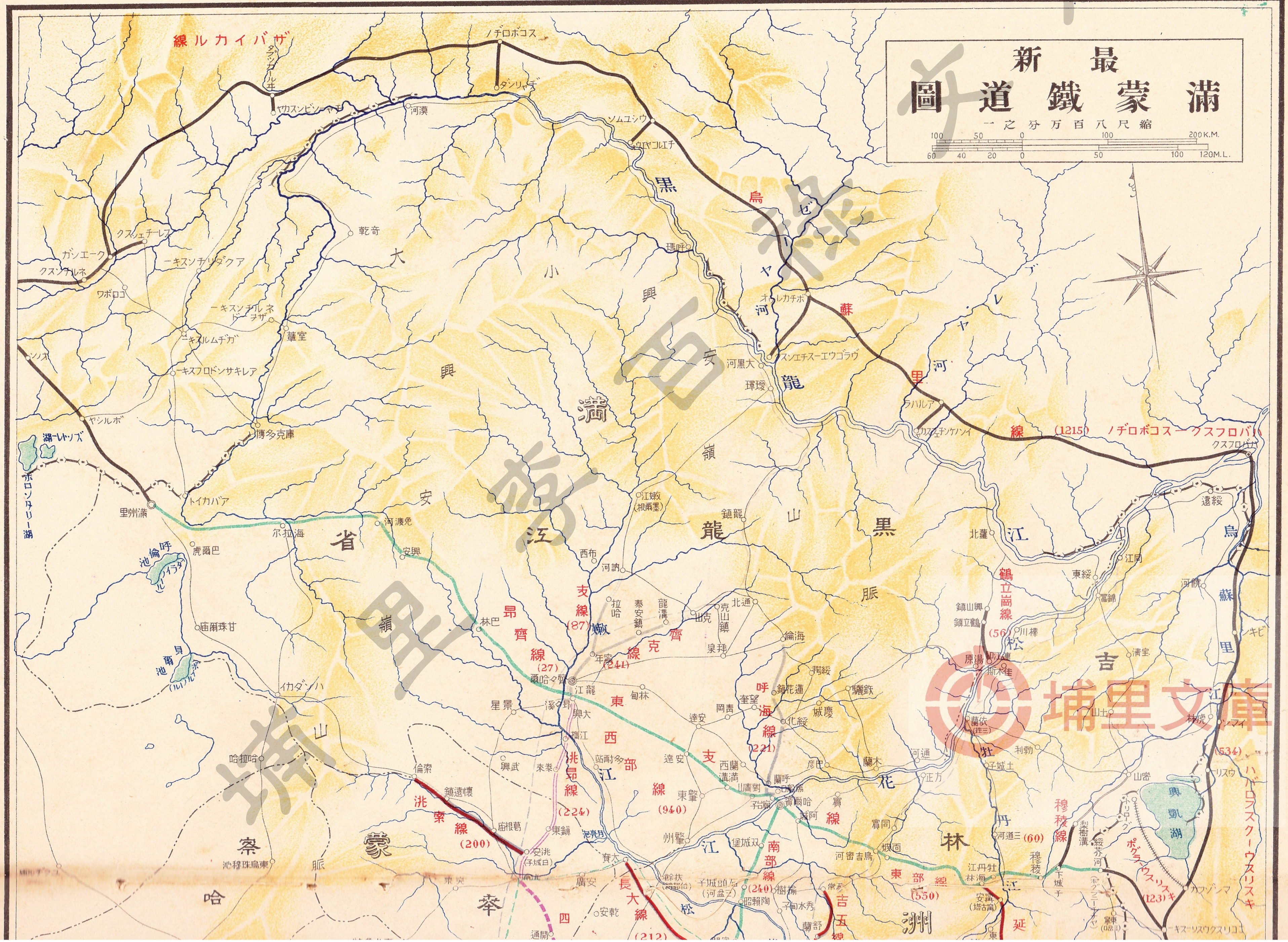
滿洲事變寫眞帖 目次

最新滿蒙地圖 ……………………………………………………………… 1—2
滿洲事變日支軍一覽圖 ……………………………………………………… 3
關東軍に賜はつた勅語 ……………………………………………………… 4
滿洲事變の皇軍首腦部 ……………………………………………… 5—6—7—8
事變發生の眞相・支那の排日ポスター……………………………………… 9—10
膺懲（奉天に於ける） ……………………………………………… 11—12—13
支那側の新兵器と兵工廠の製造能力 ……………………………………… 14
膺懲（長春・紅頂山・吉林・敦化に於ける）…………………… 15—16—17
草原の夕陽 ………………………………………………………………… 18
進撃！チチハルへ……………………………………… 19—20—21—22—23—24
進撃！錦州へ ……………………………………………… 25—26—27—28
錦州入城 ……………………………………………………………… 29—30
武勳赫々（我戰死、負傷將士） ………………………………………… 31—32
隱れなき功勞（滿鐵社員の活動・警官隊の匪賊討伐） ………………… 33—34
國民の赤誠（愛國號大連飛行場着陸・大連、奉天に於ける示威行列其他）…… 35—36
亡びゆく賊群 ……………………………………………………………… 37—38
張學良の匪賊使嗾實証（大刀會紅槍會匪の所持品） …………………… 39—40
匪賊の襲撃と彼等の遺品…………………………………………………… 41
附、滿蒙風景
遼陽の白塔 ………………………………………………………………… 42
大連港其他 ………………………………………………………………… 43
旅順と南山の戰蹟…………………………………………………………… 44
邦人農村・擴田・温泉場・軍部・鞍山製鐵所其他 ……………………… 45
奉天から長春まで…………………………………………………………… 46
撫順の炭礦とオイルシェール工場・安奉沿線・營口埠頭 ……………… 47
吉林・吉敦沿線・哈爾濱と東支鐵道沿線 ………………………………… 48
蒙古の風物・洮南・鄭家屯 ………………………………………………… 49
通遼・奉山沿線・熱河 ……………………………………………………… 50

埔里百祿文庫
埔里文庫

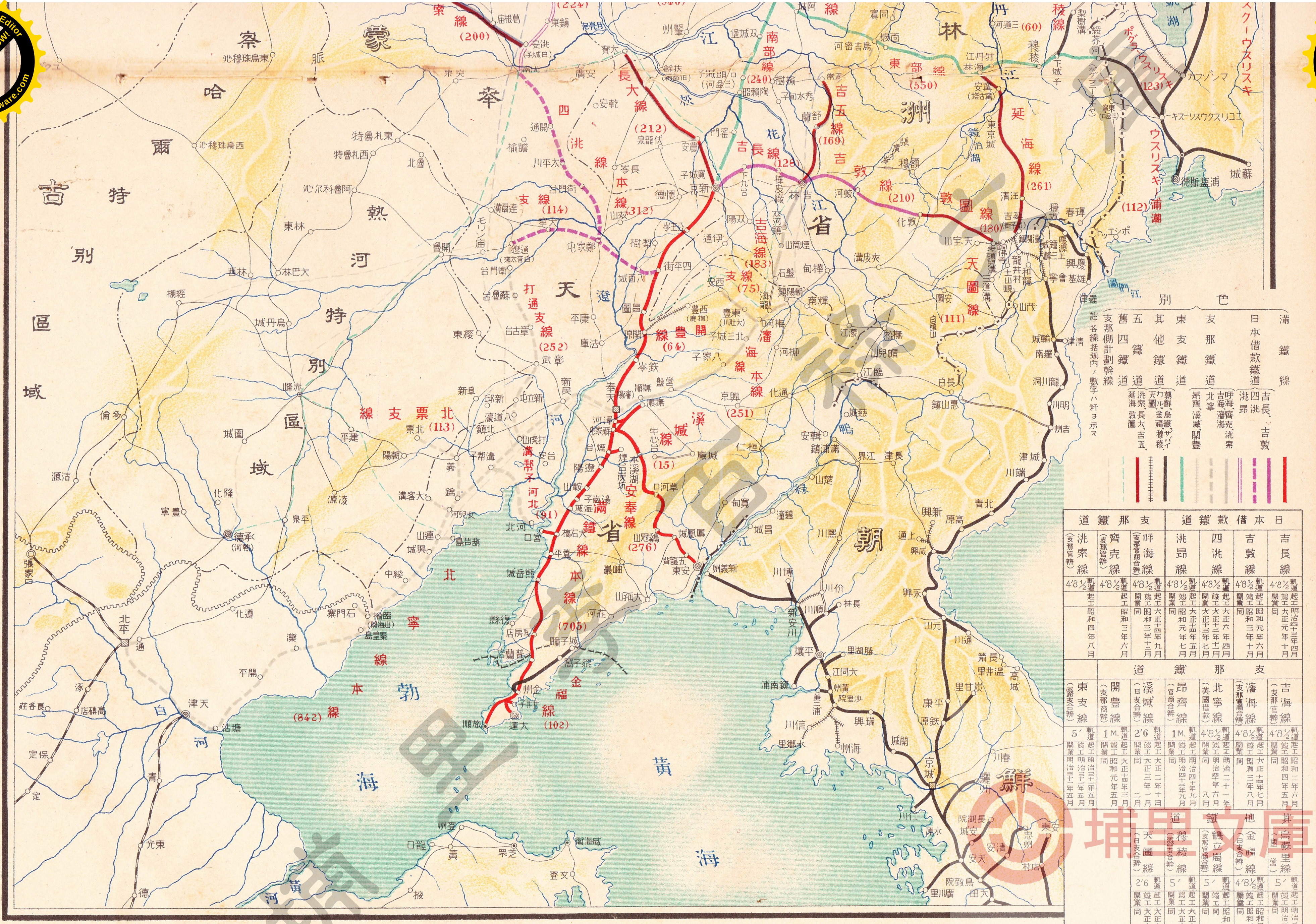
PDF-XChange Editor
Click to BUY NOW!
www.tracker-software.com

埔里 李百祿 文庫　古建築收拾大隊協力



PDF-XChange Editor
Click to BUY NOW!
www.tracker-software.com

PDF-XChange Editor
Click to BUY NOW!
www.tracker-software.com



日本借款鐵道				支那鐵道		
吉長線	吉敦線	四洮線	洮昂線	呼海線（支那官商合辦）	齊克線（支那官辦）	洮索線（支那官辦）
軌道 4'8½	軌道 4'8½	軌道 4'8½	軌道 4'8½	軌道 4'8½	軌道 4'8½	軌道 4'8½
起工 明治四十三年四月	起工 昭和元年六月	起工 大正六年四月	起工 大正十四年五月	起工 大正十四年九月	起工 昭和三年六月	起工 昭和四年八月
竣工 大正元年十月	竣工 昭和三年十月	竣工 大正十二年十一月	竣工 昭和元年七月	竣工 昭和三年十二月		
開業 同	開業 同	開業 大正十三年七月	開業 同	開業 同		

支那鐵道						
吉海線（支那官辦）	瀋海線（支那官商合辦）	北寧線（英國借款）	昂齊線（官商合辦）	溪城線（日支合辦）	開豐線（支那商辦）	東支線（露支合辦）
軌道 4'8½	軌道 4'8½	軌道 4'8½	軌道 1M.	軌道 2'6	軌道 1M.	軌道 5'
起工 昭和二年六月	起工 大正十四年七月	起工 明治二十一年	起工 明治四十年九月	起工 大正二年十月	起工 大正十四年三月	起工 明治三十一年五月
竣工 昭和四年五月	竣工 昭和三年八月	竣工 明治四十年六月	竣工 明治四十二年九月	竣工 大正三年一月	竣工 昭和元年五月	竣工 明治三十一年五月
開業 同	開業 同	開業 同 八月	開業 同	開業 同 二月	開業 同	開業 明治三十一年五月

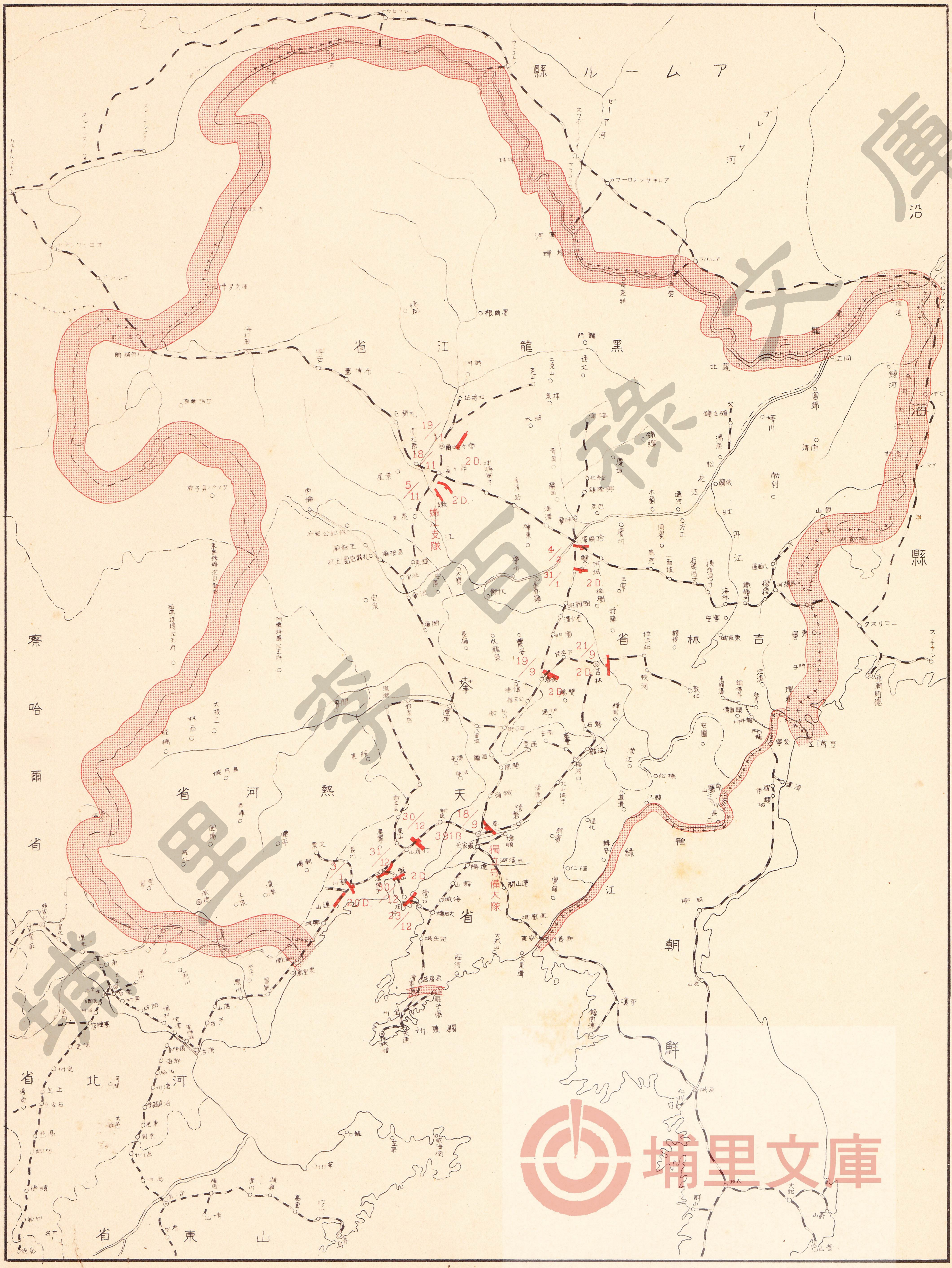
其他鐵道				
烏蘇里線（國營）	金福線（日支合辦）	鶴立崗線（支那官商合辦）	穆稜線（露支合辦）	天圖線（日支合辦）
軌道 5'	軌道 4'8½	軌道 5'	軌道 5'	軌道 2'6
起工 明治二十四年	起工 昭和元年六月	起工 昭和元年七月	起工 大正十三年五月	起工 大正十一年八月
竣工 明治三十三年一月	竣工 昭和二年八月	竣工 同 十一月	竣工 大正十四年三月	竣工 大正十三年十月
開業 同	開業 同 十月	開業 同	開業 同	開業 同 十一月

昭和六年十一月　南滿洲鐵道株式會社調製

②

埔里 李百祿 文庫　古建築收拾大隊協力

滿洲事變日支軍一覽圖



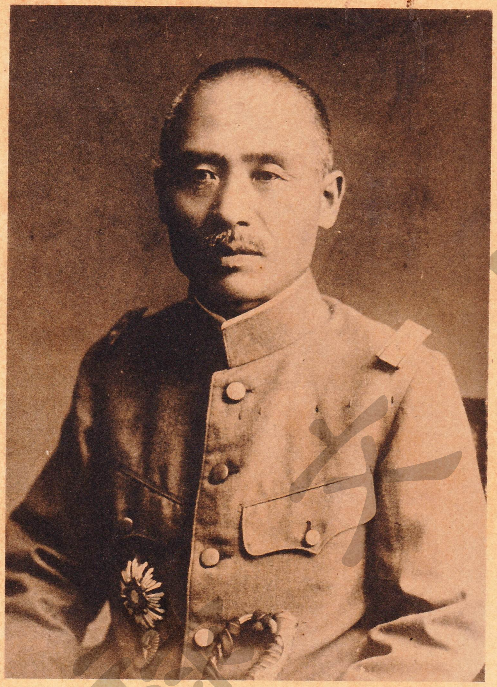
埔里文庫

曩ニ滿洲ニ於テ事變ノ勃
發スルヤ自衛ノ必要上關東
軍ノ将兵ハ果斷神速寡
克ク衆ヲ制シ速ニ之ヲ芟
討セリ爾來艱苦ヲ凌キ祁
寒ニ堪ヘ各地ニ蜂起セル匪
賊ヲ掃蕩シ克ク警備ノ任
ヲ完ウシ或ハ嫩江齊々哈爾
地方ニ或ハ遼西錦州地方ニ
氷雪ヲ衝キ勇戰力鬪以テ
其禍根ヲ抜キテ皇軍ノ威
武ヲ中外ニ宣揚セリ朕深
ク其忠烈ヲ嘉ス汝将兵益々
堅忍自重以テ東洋平和ノ
基礎ヲ確立シ朕カ信倚ニ對
ヘンコトヲ期セヨ

關東軍に賜はつた勅語

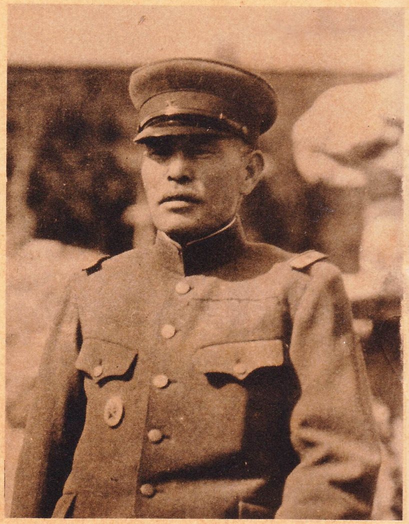
埔里文庫

參謀總長　閑院宮載仁親王殿下

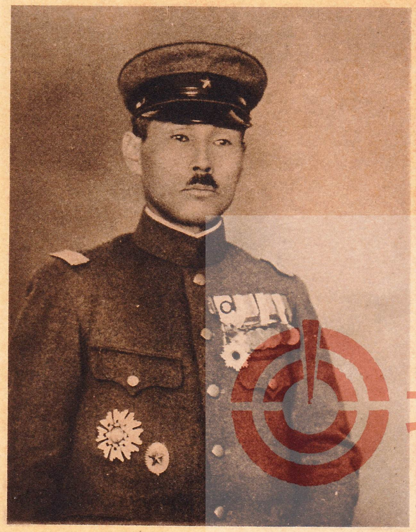


（前）關東軍司令官　本庄中將

（前）獨立守



（前）旅順要塞司令官　大谷少將



旅團長　鈴木少將

旅團長　長谷部少將

埔里文庫

(前)獨立守備隊司令官　森中將

(前)師團長　室中將

師團長　多門中將

少將

(前)旅團長　嘉村少將

旅團長　依田少將

(前)關東軍參謀長　三宅少將

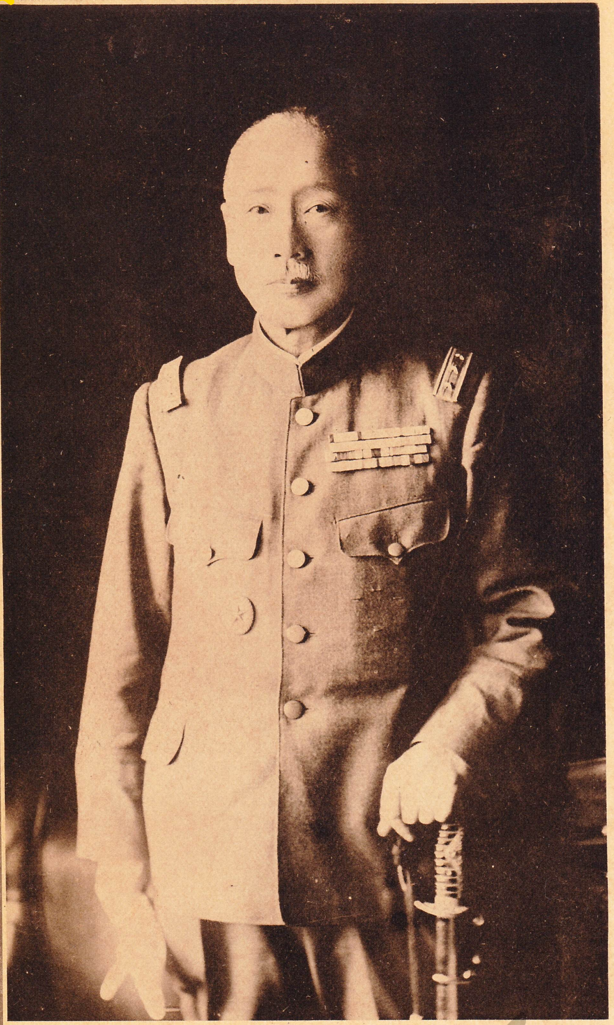
旅團長　天野少將

(前)旅團長　村井少將

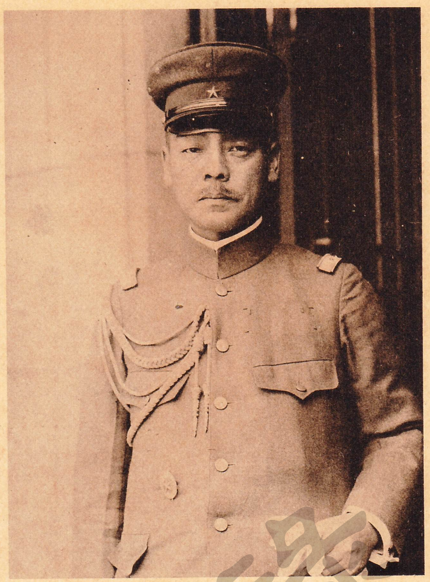
(前)關東憲兵隊長　二宮少將

埔里文庫

滿洲事變皇軍



關東軍司令官　武藤大將



關東軍參謀長　小磯中將

師團長　廣瀨中將

旅順要塞司令官　安藤中將

關東軍參謀副長　岡村少將

旅團長　平松少將

旅團長　平賀少將

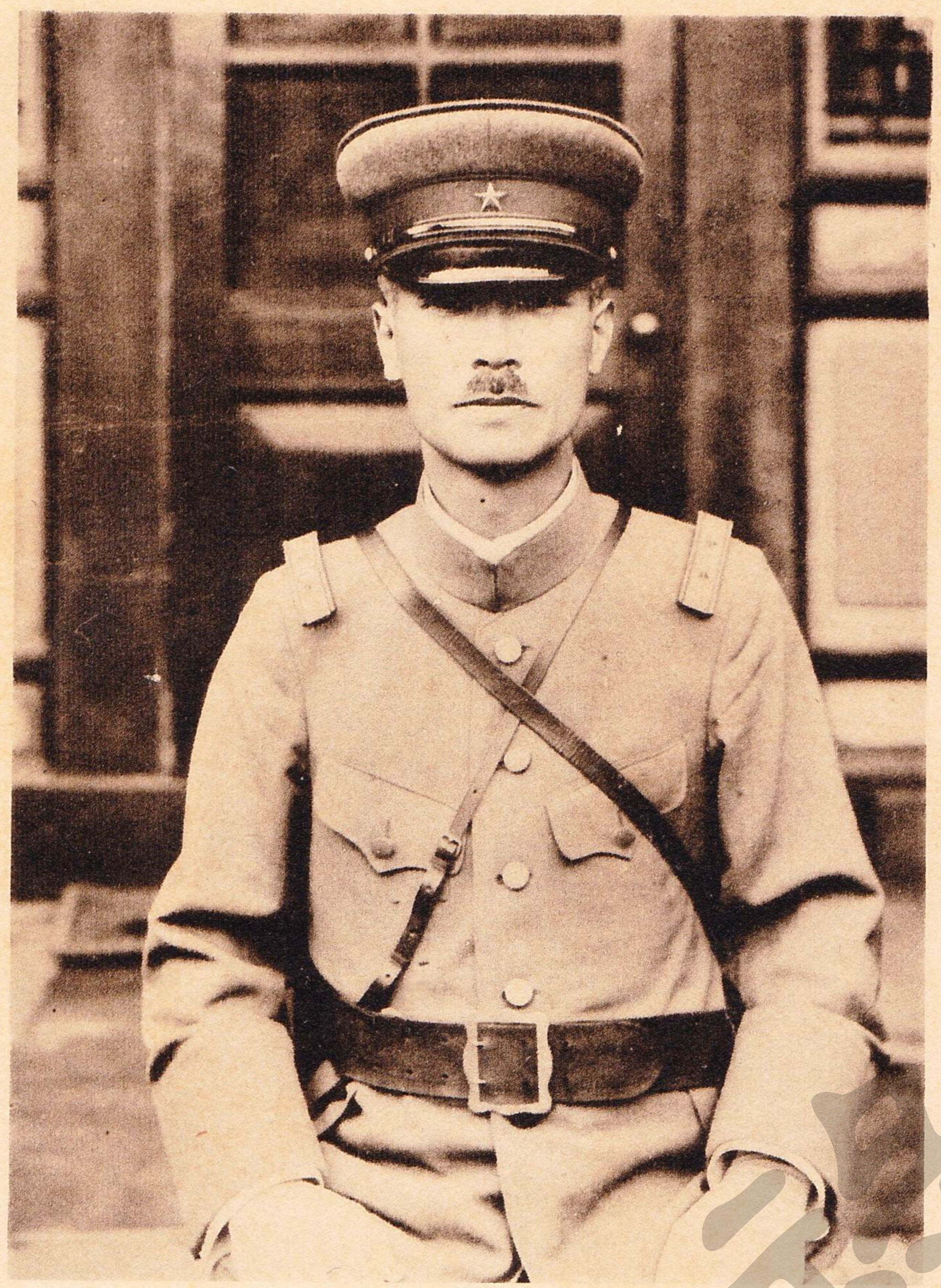
(前)旅團長　林少將

埔里文庫

皇軍首腦部諸將

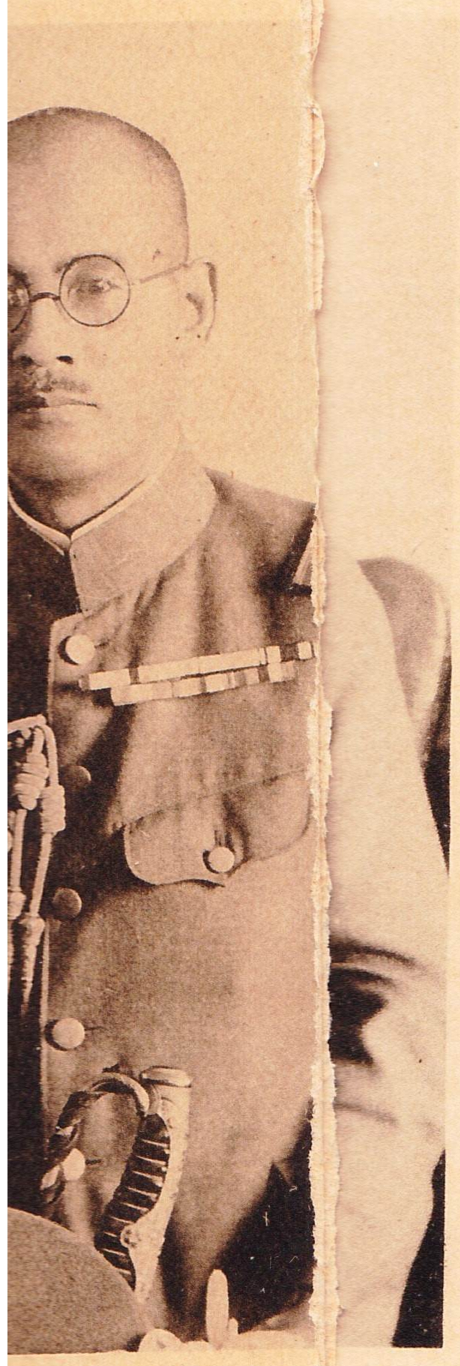
廣瀨中將

師團長 松木中將



師團長 西 中將

獨立守備隊司令官 井上中將



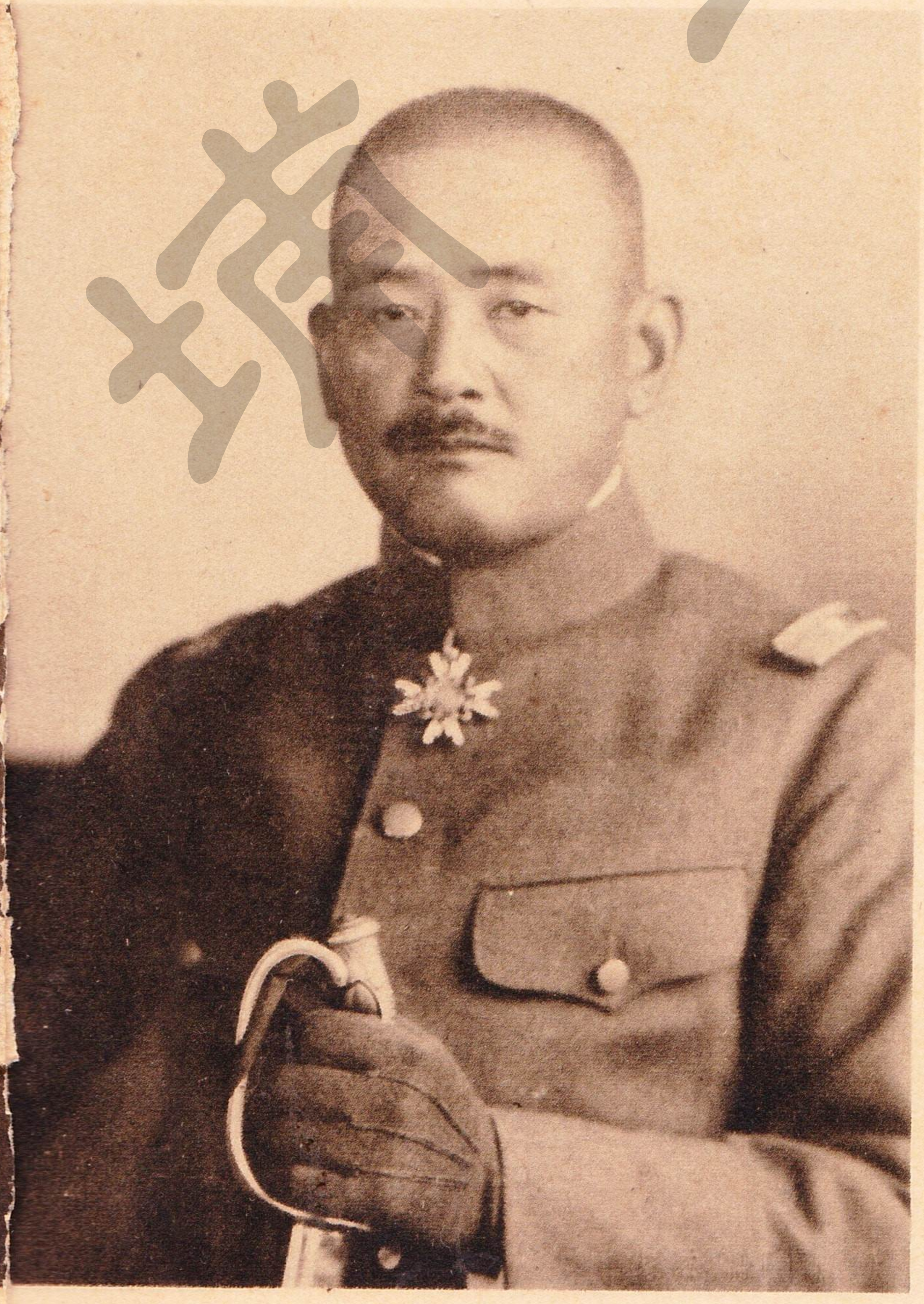
長 岡村少將

關東軍司令部附 板垣少將

關東憲兵隊司令官 橋本少將

旅團長 中村少將

少將



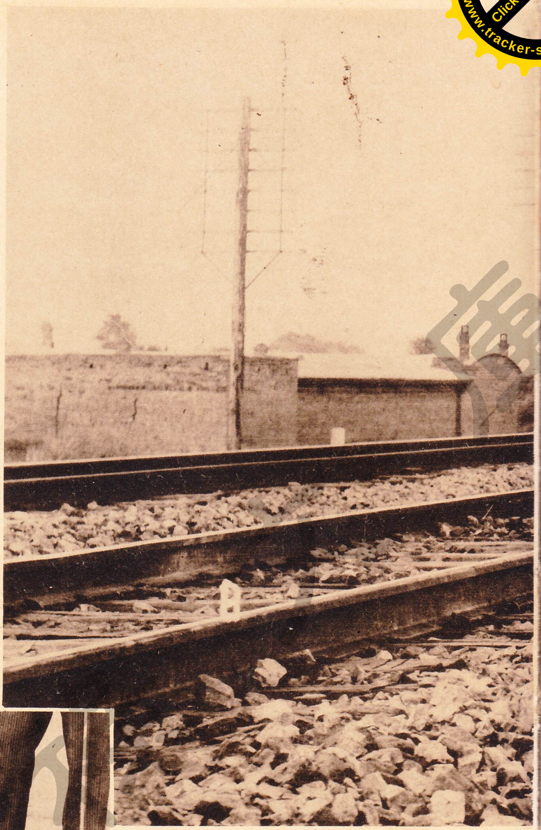
（前）騎兵旅團長 吉岡少將

關東軍飛行隊長 大江少將

海軍 小林少將

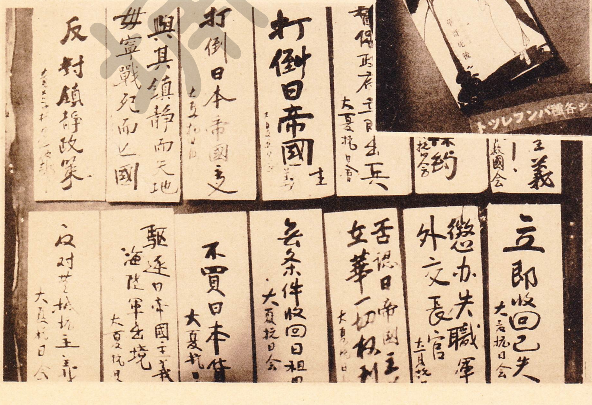
埔里文庫

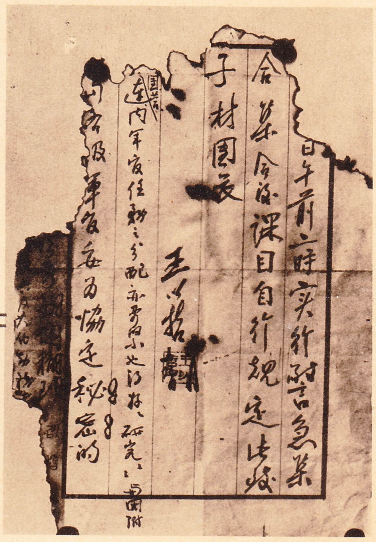
事變發生の眞相



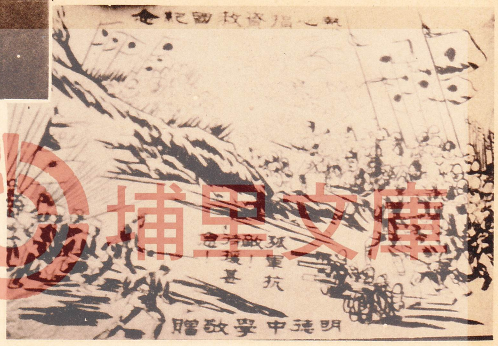
破壞地点にありし支那兵の軍帽銃器及枕木レール等の破片

支那の排貨、排日、侮日、抗日のパンフレット、ポスターの種々



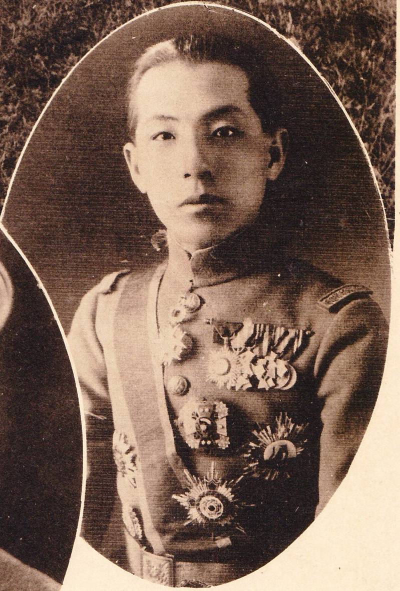


滿鐵線爆破計畫の秘密指令
（王以哲自筆）

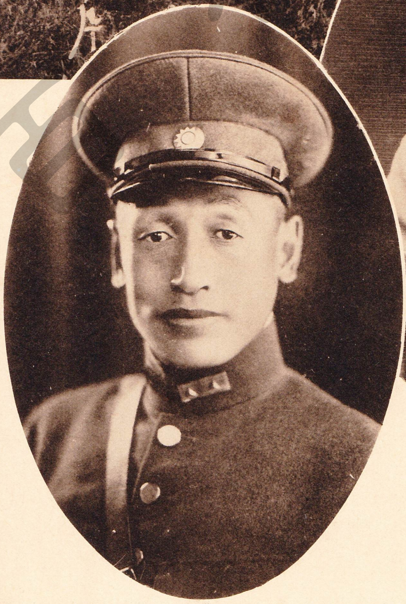


埔里文庫

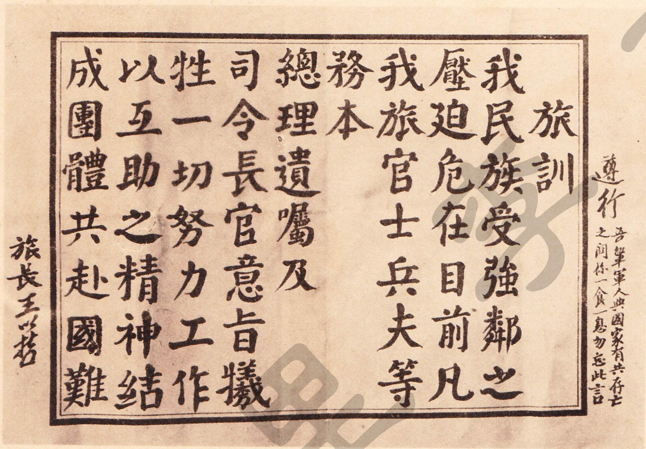
南滿鐵道の破壞地点



前東北邊防軍司令張學良



前東北第一旅長王以哲


旅訓

我民族受強鄰之壓迫危在目前凡我旅官士兵夫等務本總理遺囑及司令長官意旨犧牲一切努力工作以互助之精神結成團體共赴國難

遵行

旅長王以哲

王以哲の排日旅訓

埔里文庫

PDF-XChange Editor Click to BUY NOW! www.tracker-software.com

膺懲（奉天）

小西邊門城壁より我軍の攻撃

城内に於ける我裝甲自動車隊の活動

支那兵逃走の跡
（講武堂本校步兵第二隊生徒舍）

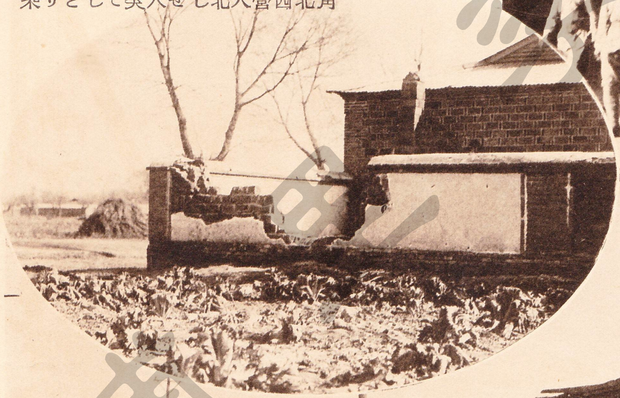
北大營の支那軍が遺留した戴々道具

埔里文庫

占據した奉天城

我軍奉天城入城

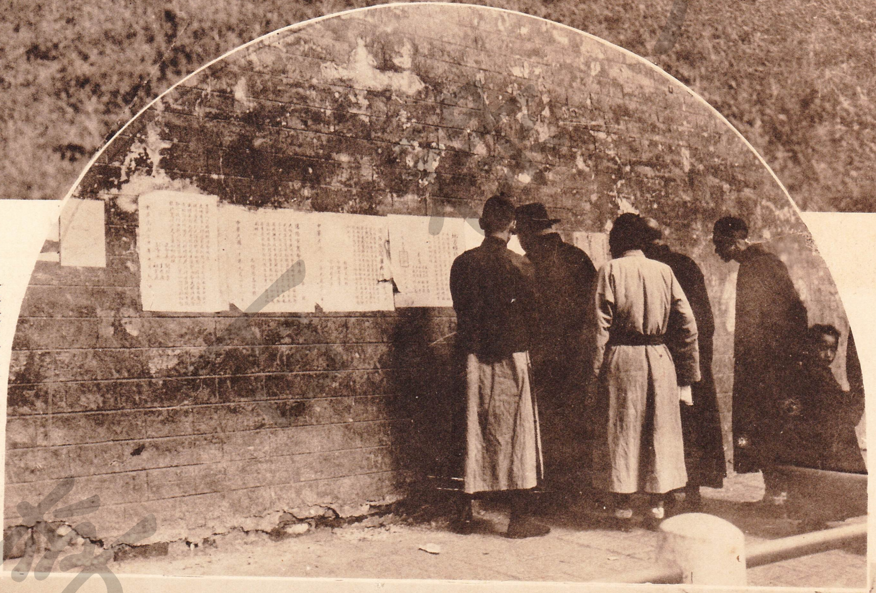
獨立守備隊步兵第二大隊第三中隊谷
川軍曹敵千九の抵抗を受けつゝ一番
乘りとして突入せし北大營西北角



北大營激戰の跡

埔里文庫

奉天に於ける我飛行隊の本據

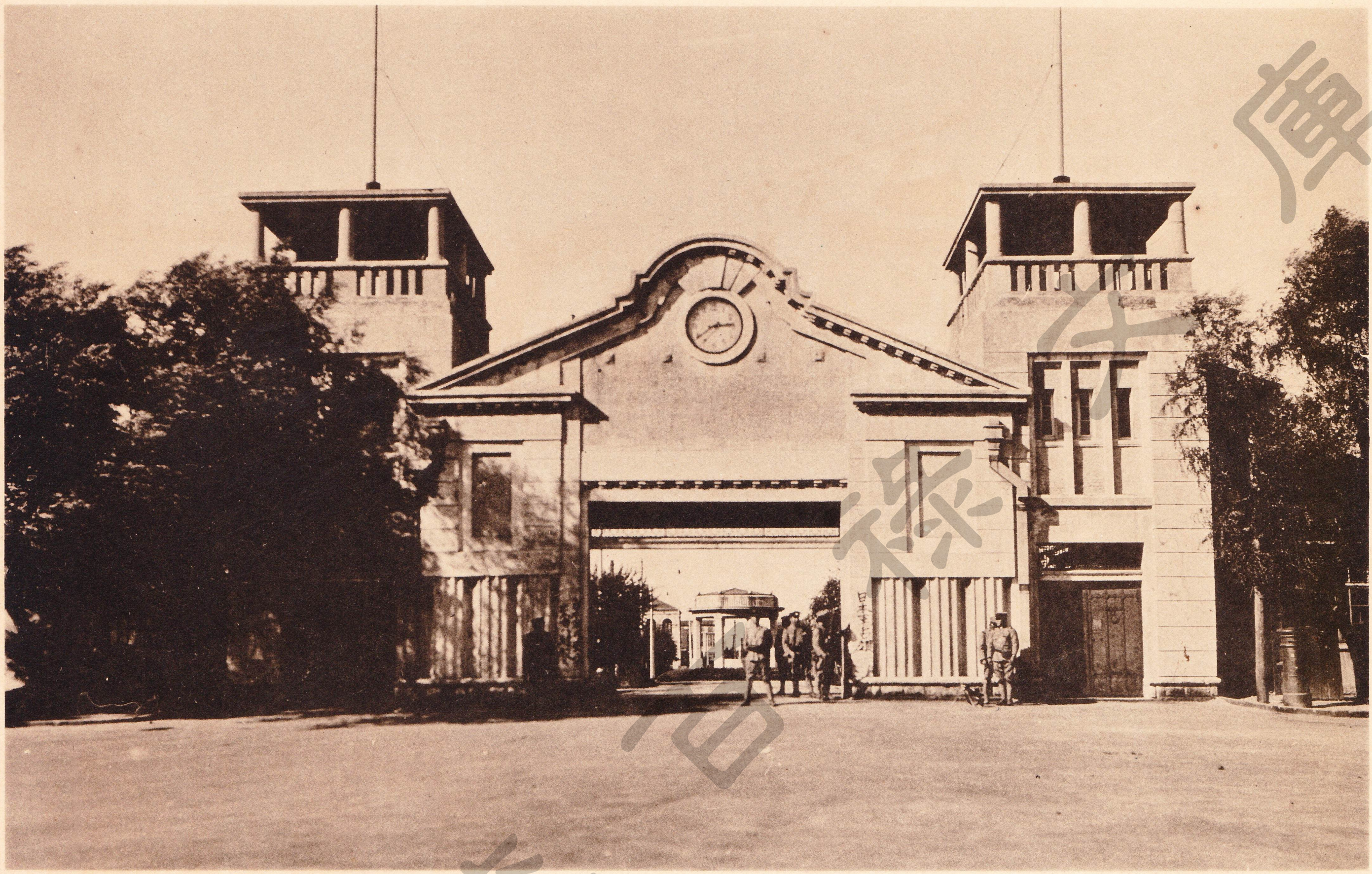


各種佈告文を讀む（奉天城内にて）

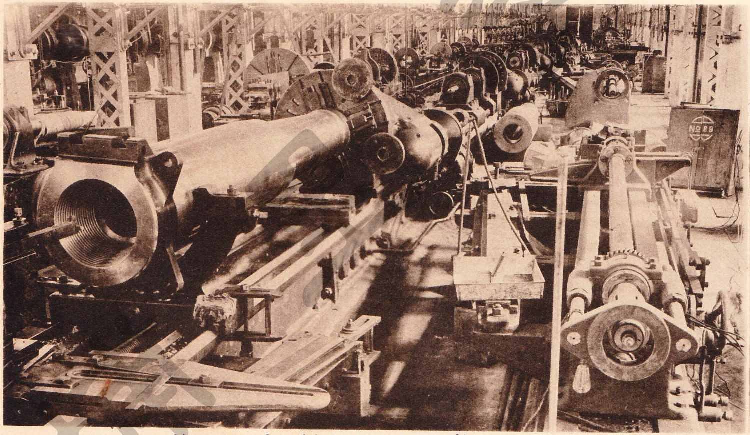
支那側の戰爭計畫實證（新設せる二個の隧道に注目、前面は滿鐵線）

埔里文庫

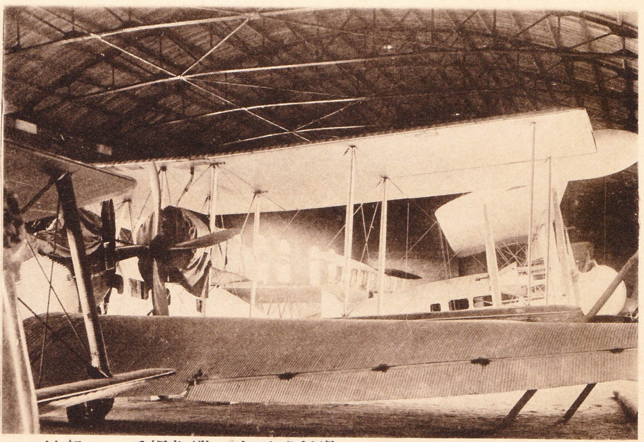
支那側の新兵器と兵工廠の製造能力



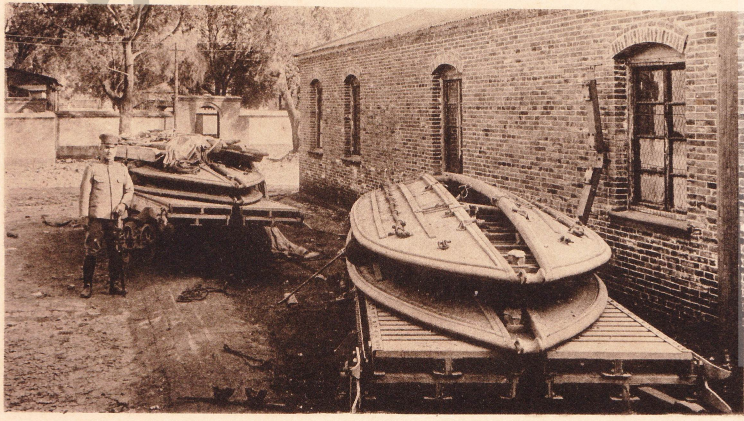
奉天兵工廠正門



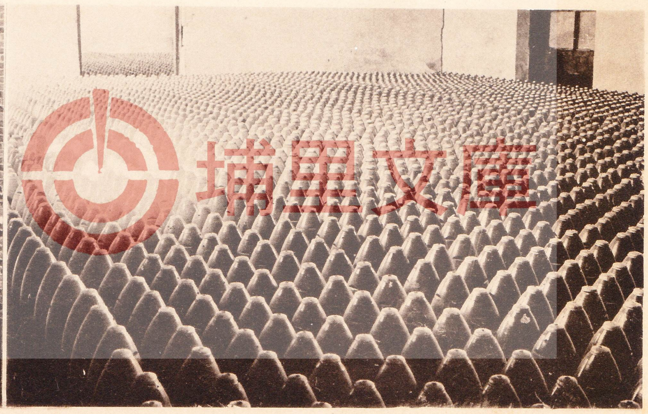
二十四サンチ榴彈砲々身の製造（奉天兵工廠にて）



精鋭なる重爆撃機（奉天飛行場にて）



折疊式渡河材料（北大營にて）



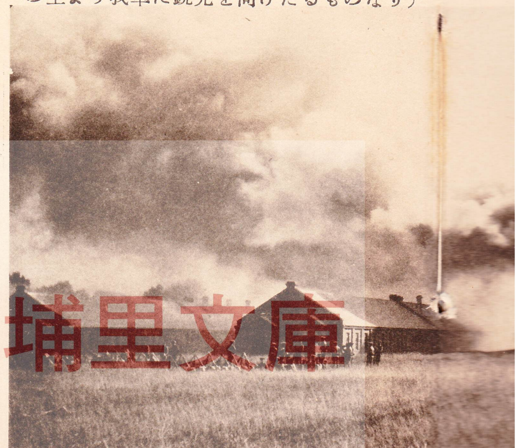
山積せる野砲榴霰彈（奉天兵工廠にて）

埔星文庫

寛城子兵營激戰の跡

寛城子の兵舍、支那兵抵抗の跡

南嶺の支那兵抵抗し我軍が破壞突入せし圍壁（敵方より撮影す腰掛を踏臺として圍壁の上より我軍に銃先を向けたるものなり）

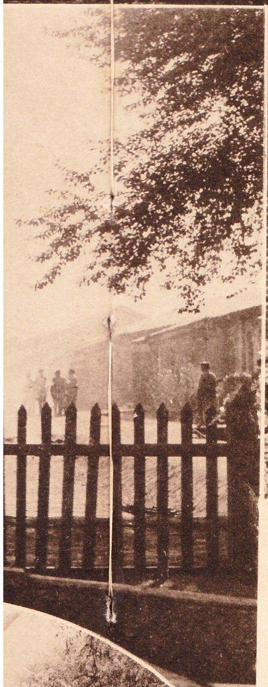


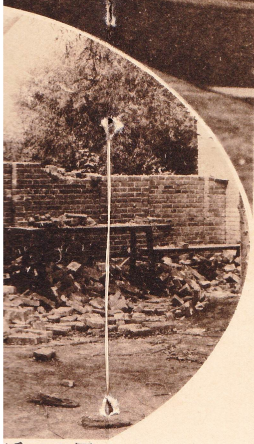
 紅頂山砲擊

紅頂山兵營火焰に包まる

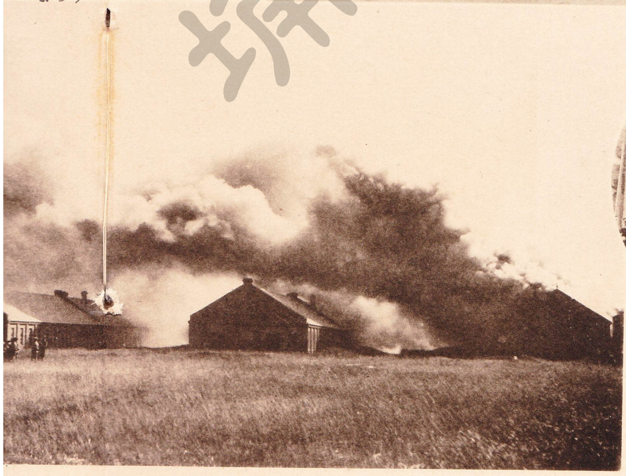
埔里文庫

燒け落ちた南嶺の兵營





我軍吉林入城

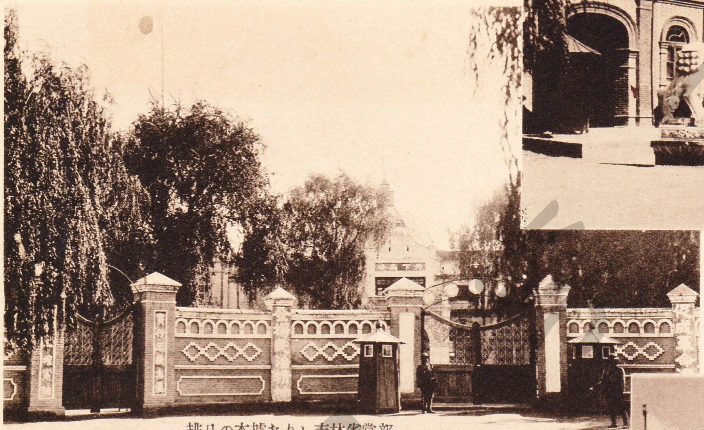


我軍支那巡警と共同警備（吉林）

PDF-XChange Editor Click to BUY NOW! www.tracker-software.com

赤十字病院となつた吉林滿鐵東洋醫院

吉林省政府及各官署



排日の本據たりし吉林省党部

占據した敦化の兵營と市街

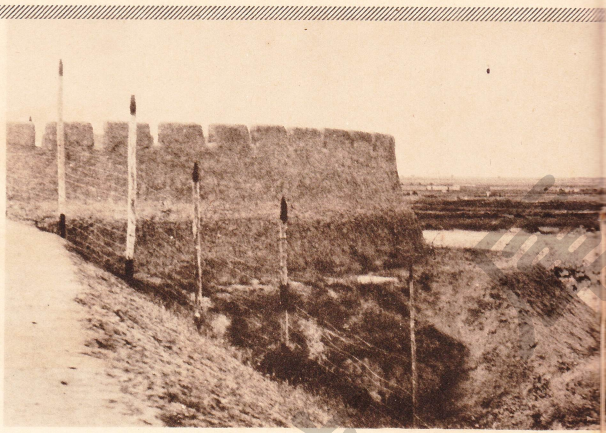
靖里文庫

草原の夕陽

埔里文庫

進撃！チヽハル、へ

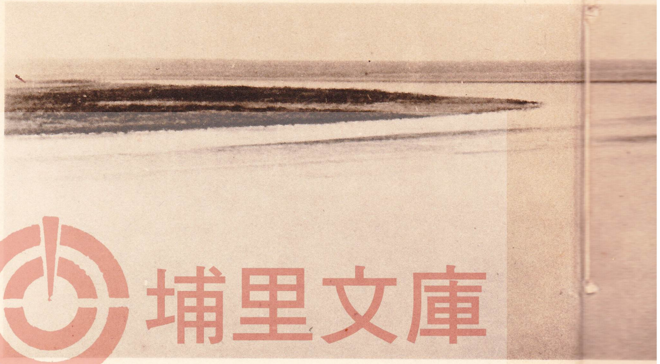
鄭家屯遼河の鐵橋守備



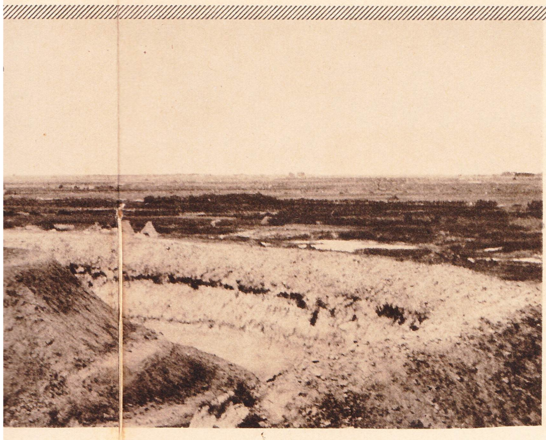
洮　南　城

我軍の洮南入城

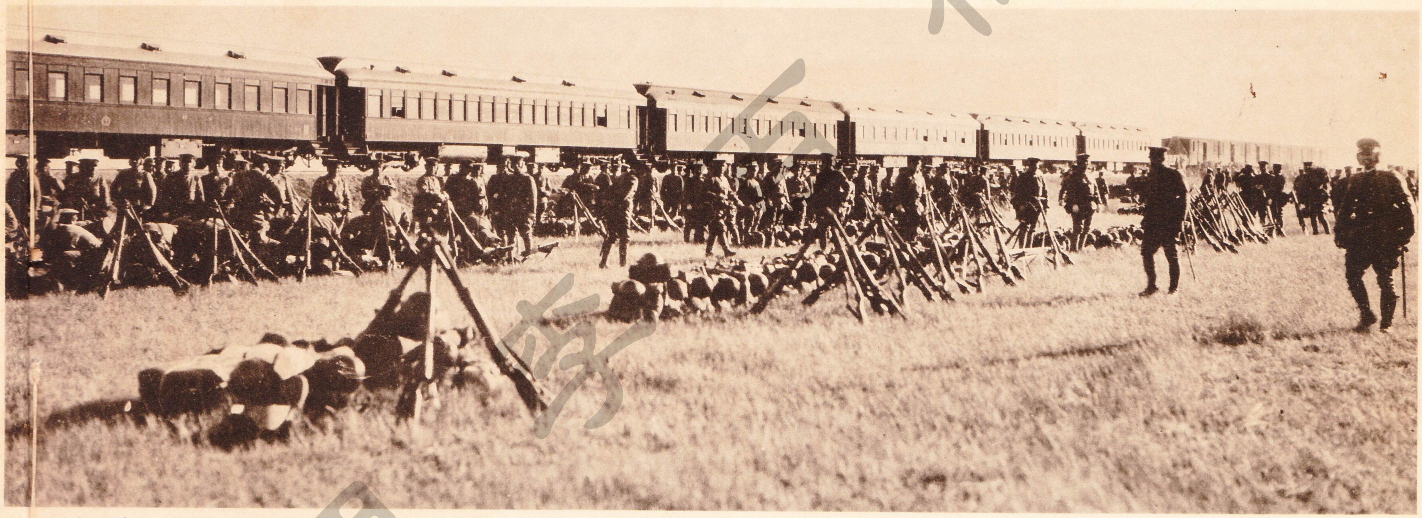
鐵路を横斷した支那側の壍壕（大興にて）



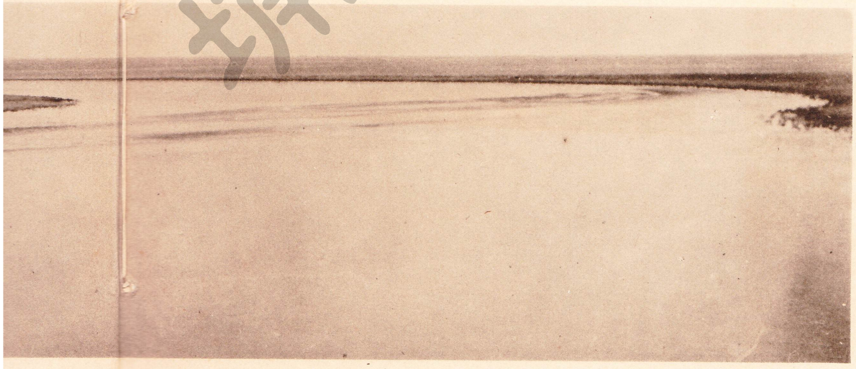
嫩　江　の　流　れ

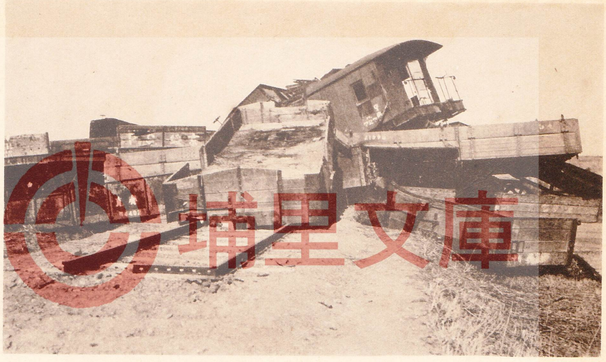


大興北方に於ける我軍需品



大興北方に到着した我軍主力部隊





埔里文庫

支那軍の鐵路破壞現場（大興北方）

聯隊旗を先頭に我軍チヽハルに迫る • 重機關銃隊の活動

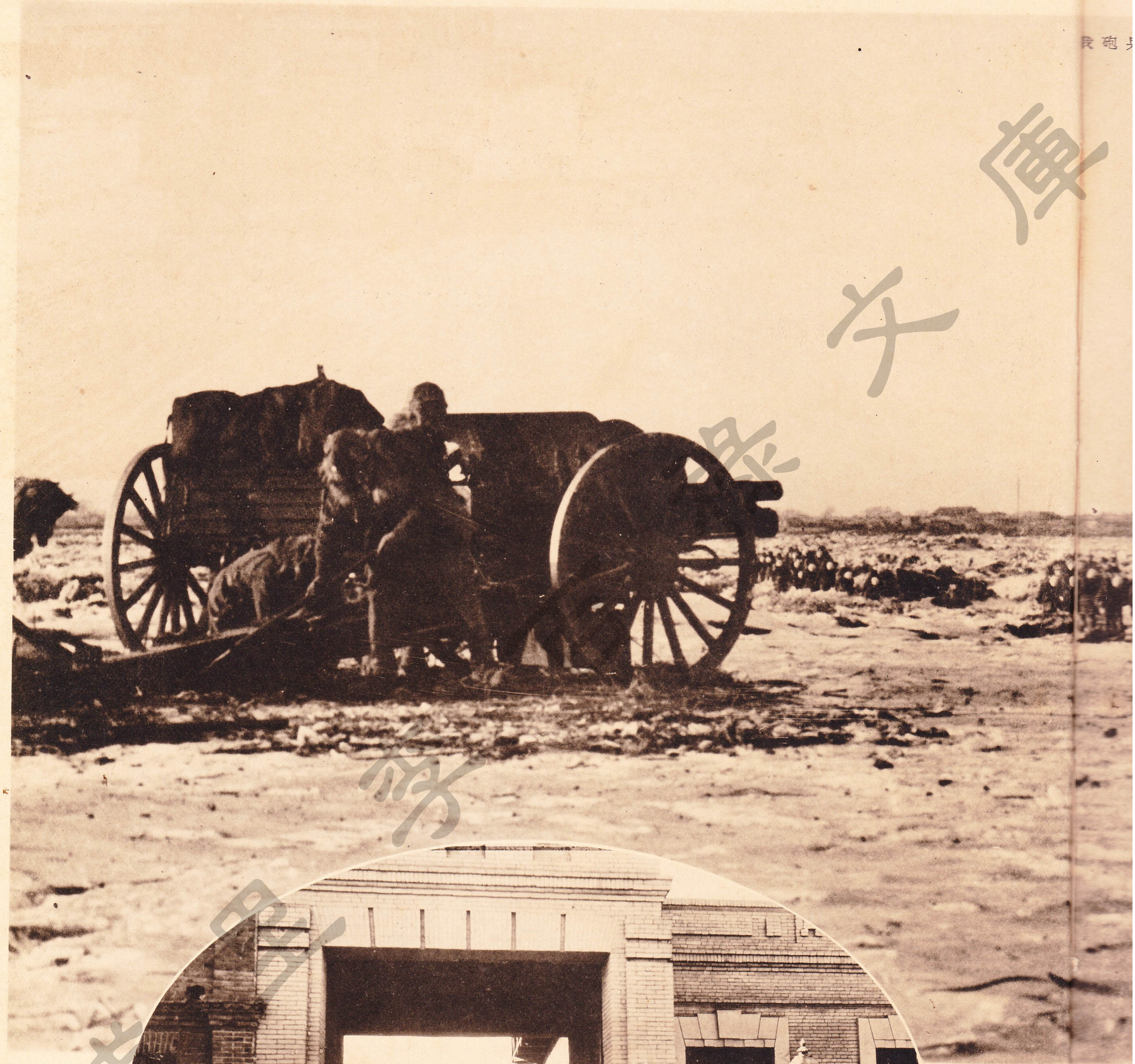
（三間房にて）• 突撃！（頑强に抵抗した支那軍の塹壕）

埔里文庫

突撃！チヽハル近し（1）• 噫々、全員斃る（昂々溪に於て我軍の一部が優勢なる敵騎の包圍を受け頑强に抵抗せるも家屋に火を放たれ全員戰死を遂ぐ。燒跡に遺されたる觀るも傷ましき兵器 • 突撃！チヽハル近し（2）

埔里文庫

PDF-XChange Editor Click to BUY NOW! www.tracker-software.com



泰來の我飛行隊本部（歩哨は張海鵬氏の兵）

埔里文庫

チチハルに於ける我裝甲自動車の分列式

我砲兵隊の活動

支那軍器の捕獲

埔里文庫

PDF-XChange Editor Click to BUY NOW! www.tracker-software.com

進撃！錦州へ

我軍の營口遼河渡渉準備

騎兵隊の遼河進撃

熱誠溢るゝ部落民の歡迎

埔里文庫

營口線進擊の我裝甲自動車隊

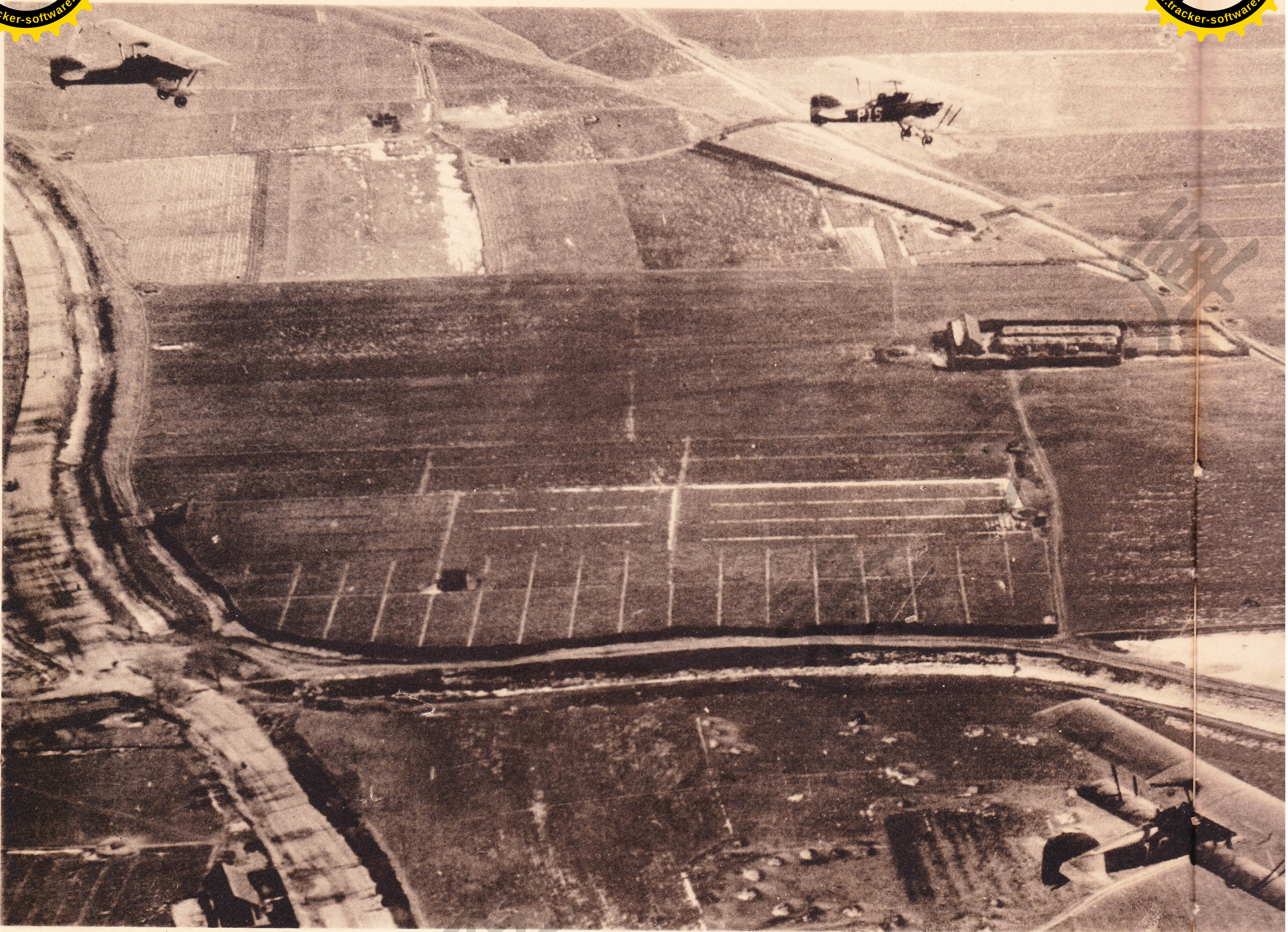
雪中の散兵（白旗堡附近）

霜花咲く寒朝を通信隊の活動

裝甲車の威力

盤山を占據した我軍の萬歲

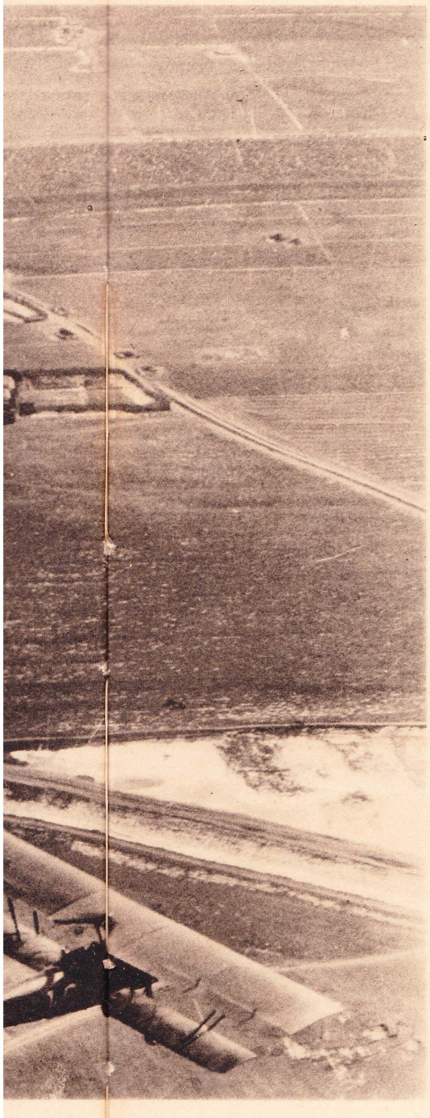
埔里文庫



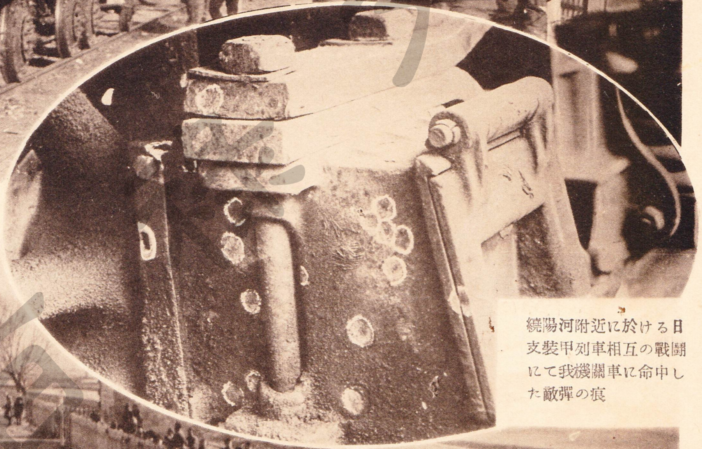
錦州方面の偵察に出動する我陸軍機

支那側の塹壕（内部に暖房等の設備あり）

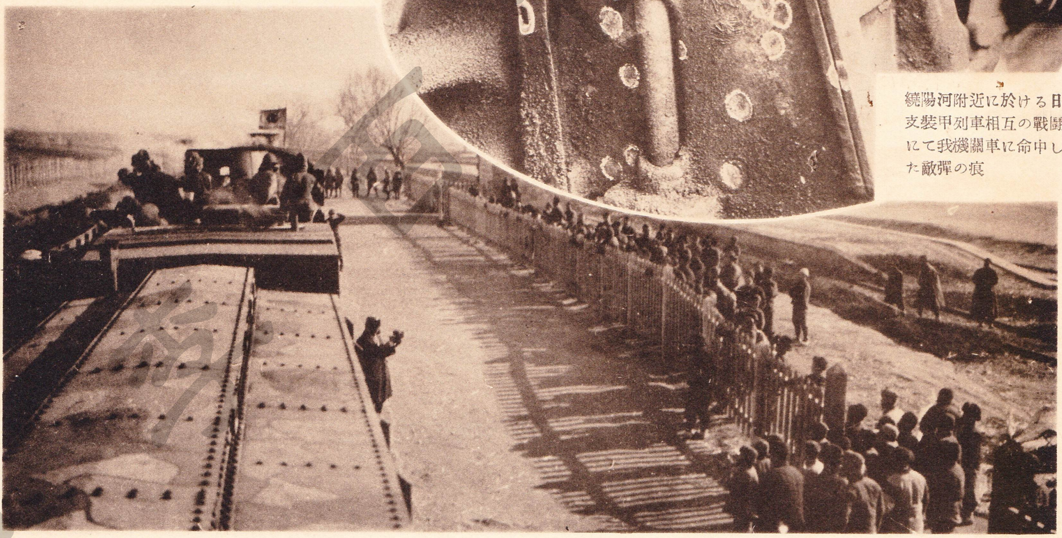
我軍爆彈の威力（溝帮子にて）



進擊のトップを切つて活躍した輕快なる我裝甲軌上自動車（石山站にて）



繞陽河附近に於ける日支裝甲列車相互の戰鬪にて我機關車に命中した敵彈の痕



我裝甲列車錦州に迫る（雙羊店にて）

溝幫子に於ける我司令部

錦州入城

昭和七年元旦の君萬歲

陣中に新春を迎ふ諸將士

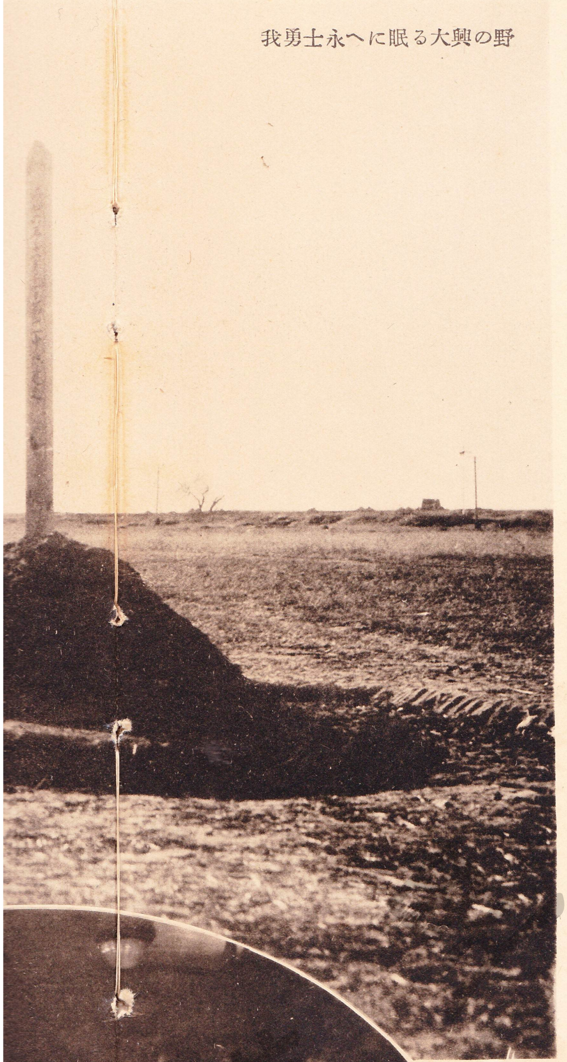
我トラック隊の入城

埔里文庫

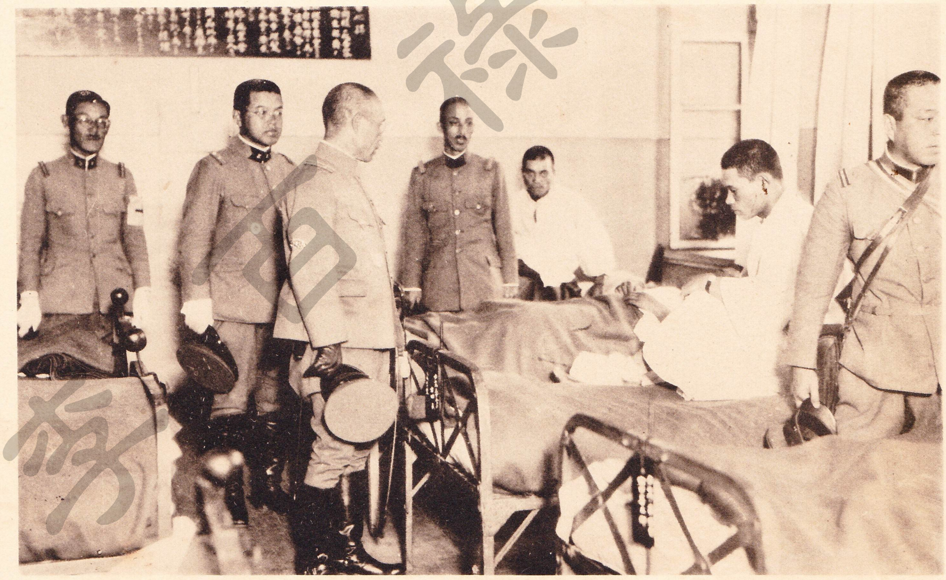
PDF-XChange Editor
Click to BUY NOW!
www.tracker-software.com

PDF-XChange Editor Click to BUY NOW! www.tracker-software.com

繞陽河で戰死した板倉大尉の遺骸を後送



我勇士永へに眠る大興の野



本庄司令官の傷病兵慰問（奉天衛戍病院にて）

負傷將士を收容した滿鐵寢臺車

負傷將士を送る官民（奉天にて）

埔里文庫

隱れな

滿鐵社員の活動

山海關に入つた修理班列車

← 中間驛に配置される驛員

錦州女兒河鐵橋の修理

埔里文庫

PDF-XChange Editor Click to BUY NOW! www.tracker-software.com

な

き　功　労

警官隊の匪賊討伐

理

埔里文庫

國民の赤誠

愛國號（大連飛行場着陸=第一號機）

大連忠靈塔に於ける護國祈願祭

大連に於ける示威行進

埔里文庫

支那人團の示威行列參加（奉天）

花輪を送る

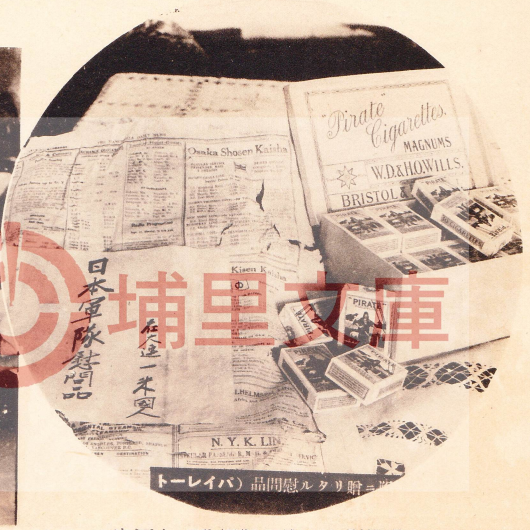
愛國號の性能を聽取する市民

忠靈塔に參拜せる少年團

婦人團の慰問袋發送

（奉天）

女學生の慰問袋縫ひ



米國人が我軍隊に寄せた慰問品

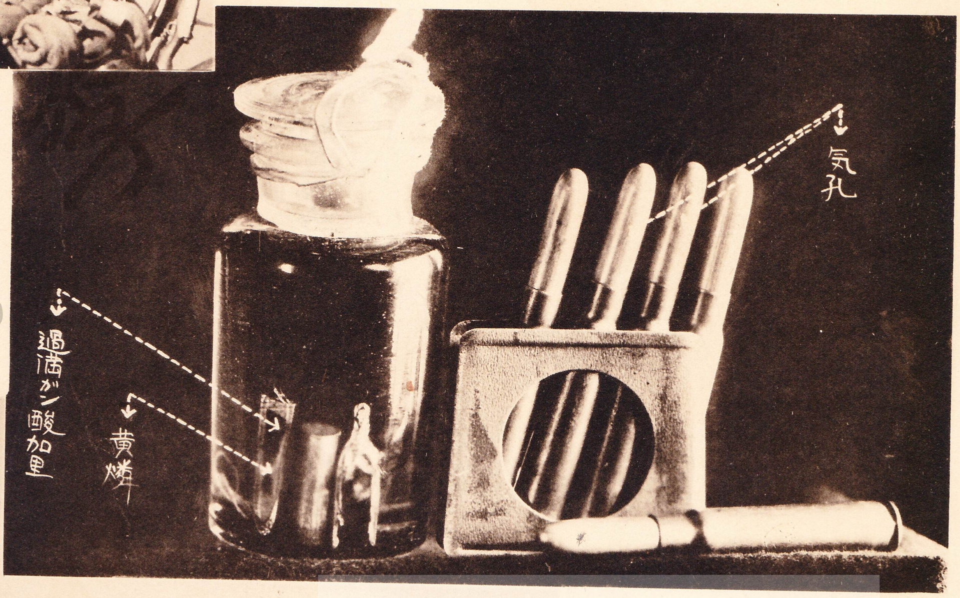
亡びゆく賊群

曠野を馳驅する馬賊隊・捕へられた便衣隊・捕へられた匪賊・土匪の官兵たりし實証、（昭和六年十月十三、四日の巨流河東北方地區に於ける土匪討伐に際し戰場に遺棄せる青天白日旗にして從來土匪の決して用ひざりしもの）

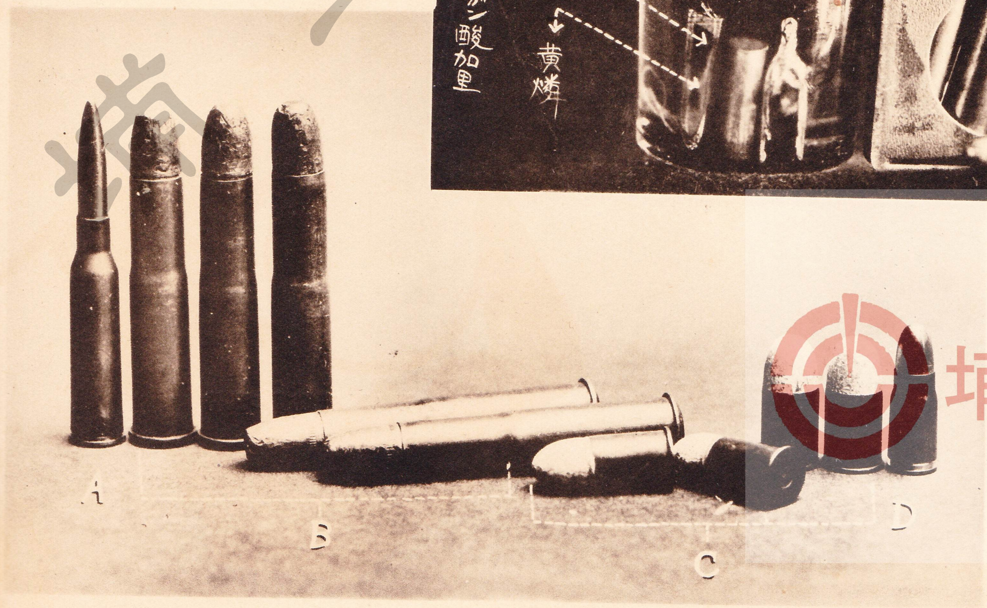
埔里文庫

匪賊討伐のためハルピン松花江埠頭を下流に向け出帆する皇軍

匪賊討伐に出港を待つ皇軍
（ハルピン埠頭にて）



支那兵匪の使用せし化學彈



A、日本歩兵銃彈
B、兵匪のダムダム彈
C、兵匪の拳銃ダムダム彈
D、日本拳銃彈

支那兵匪の使用せしダムダム彈と日本軍使用の小（拳）銃彈との比較

埔里文庫

張學良の匪賊使嗾と國際

匪賊の頭目に與へたる

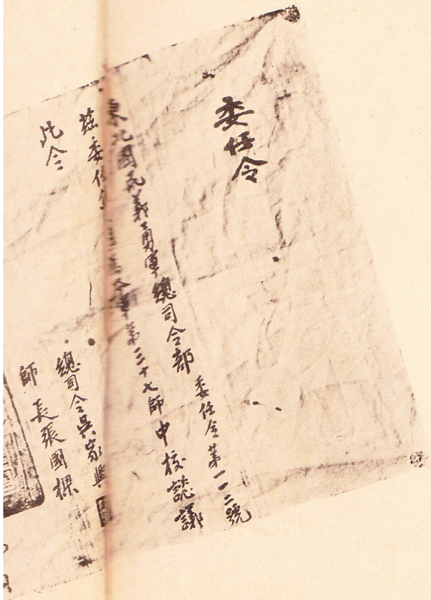
紅槍會匪副頭目の遺品

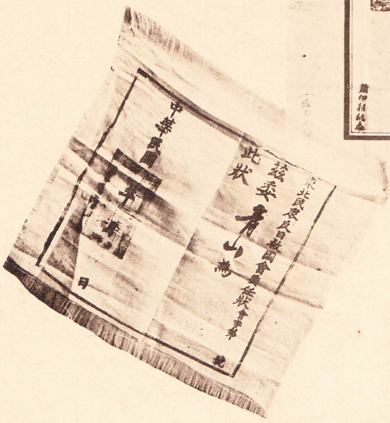
大刀會及紅槍會員の護符

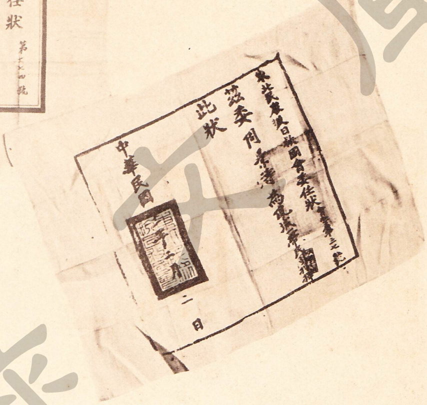
埔里文庫

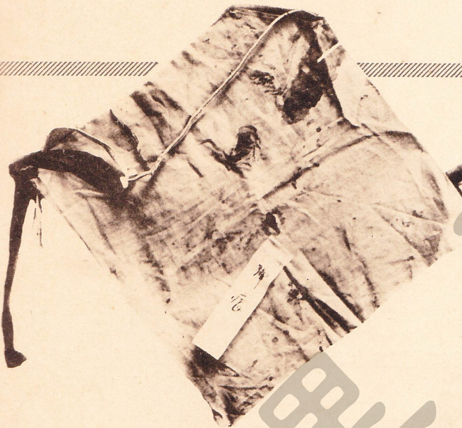
嗾と國際鐵道襲擊の實証

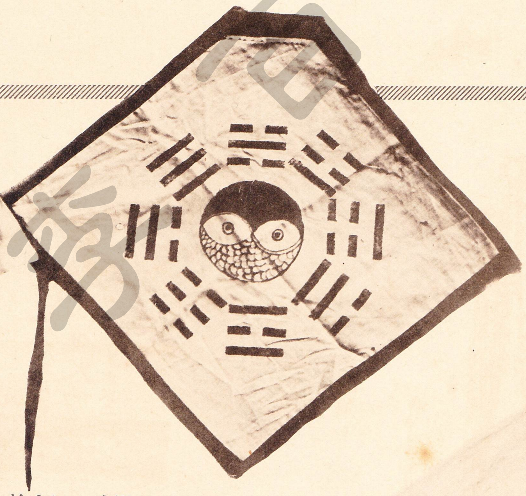
頭目に與へたる委任狀











大刀會及紅槍會匪の胸掛け
之を着け居れば彈丸貫通せずと愚信す

紅槍會誘導旗

埔里文庫

PDF-XChange Editor Click to BUY NOW! www.tracker-software.com

兵匪のため破壞された鐵道及通信線(安奉線)

兵匪に襲擊された滿鐵社宅(安奉線)

兵匪の旗及腕章

埔里文庫

附満蒙風景

遼陽の白塔

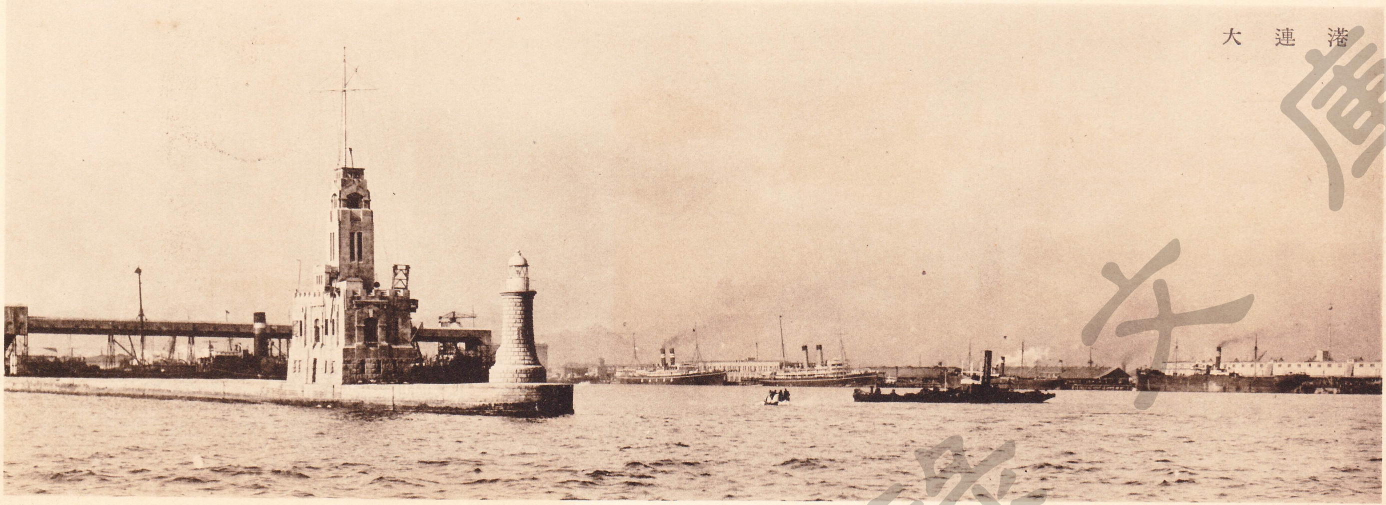
唐の尉遲恭重修の時之を建つと傳へ、一説高勾麗時代の建造とも云ふ。蒼石蒼茫、その色は褪せ八角十三層計四十八丈五尺三寸。頂は徒らに老鵲巣ふに任す。一夕立つて仰瞰すれば、瓦礫風無きに墜ちて遊子の心を慘ましむる。

俄か雨はれし木立の上にして
雲間にはゆる白きあららぎ　　　平福百穗

埔里文庫

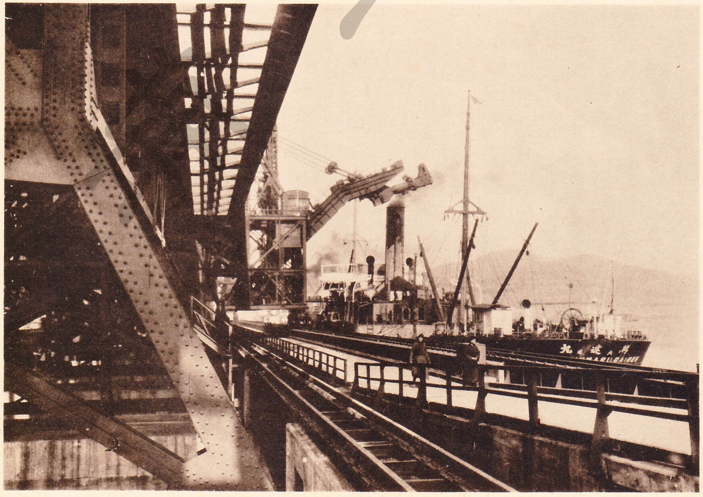
[illegible]港＝滿蒙の文明と經濟の玄關 ・ **埠頭廣場** ・ **第一埠頭特產物の集積**＝滿洲の氣候の寡雨なるを利用して大豆其他の貨物が野天の[illegible]されるのであるが特產出廻期に此の六萬五千坪三十萬噸の收容能力ある野積場の中を貨物列車が鐘を響かせつゝ往來する狀は流石に此處な[illegible]ではと思はしめる。野積場とゝもに大量の保管に任ずる倉庫がある。これは七十四棟約十萬坪四十萬噸の收容能力を有する。尙特筆すべきものに船積能力一時間八百噸のカーダンパー式石炭積込機と、一時間二百噸の給炭船撫順丸等がある。埠頭に勞働する苦力（人夫）は一日約八千人に上る。 ・ **甘井子石炭埠頭**＝撫順炭積出專門の埠頭で棧橋五五〇米防波堤九八〇米。棧橋兩側に一萬噸級船舶二隻を同時に横付し得る。積込機カーダンパーの設備完全、管理の進步東洋に其の比を見ず。 ・ **大廣場**＝は大連の中心を成す。市街の特相は、その中心から街路が放射狀をとつてゐることにある。巴里の街に類型を有つ近代的な都市計畫によるものである。

大　連　港

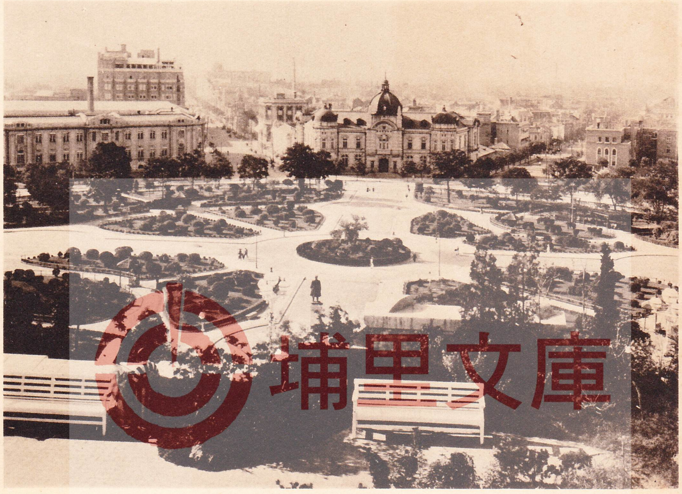


埠　頭　廣　場

第一埠頭特產物の集積



甘井子石炭埠頭



大　廣　場

埔里文庫

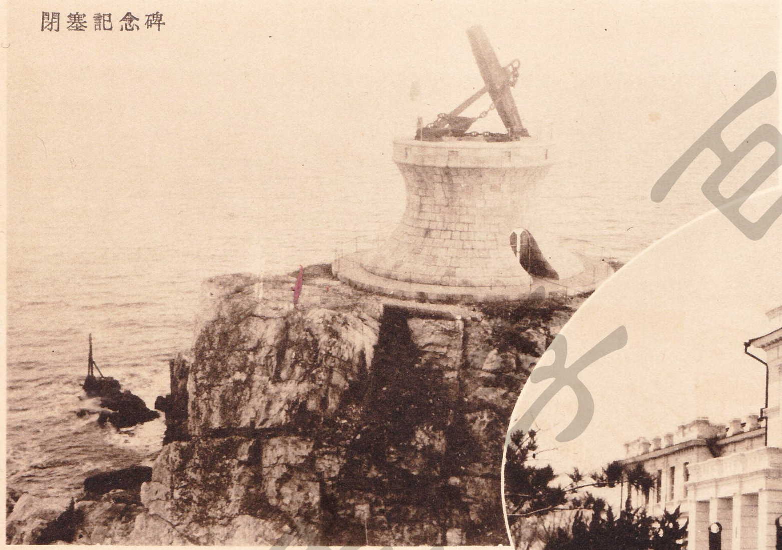
旅順・南山の戰蹟

滿洲事變の發生によつて感慨を新にするものは日露の戰役である。旅順の攻城に斃れた海陸の英靈實に二萬二千余永遠に凝つて白玉山上にある。塔の高さ二十二丈、上に乃木東郷両將軍の撰にかゝる碑文を刻む。

東鷄冠山砲臺

表忠塔

閉塞記念碑



關東軍司令部

南山戰蹟碑

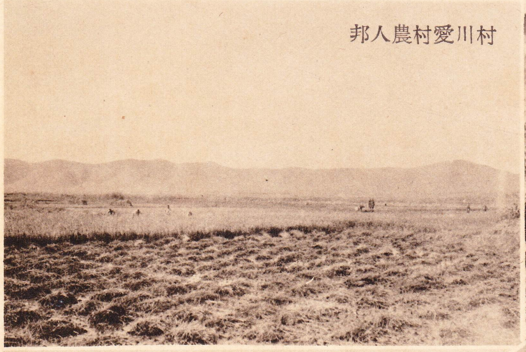
東鷄冠山砲臺＝明治三十七年八月以來第十一師團の諸隊之を攻擊し數回の突擊により幾多の犧牲を拂つたが功を奏せず三十八年一月一日敵が自爆して退却するに及んで新山地區隊の一部第十二聯隊を以て之を占領した。碑名土屋光春大將書

閉塞記念碑＝我海軍が三回に亘り港口を閉塞した記念に今港口燈臺下波浪白くあたつて碎くる巨巖の上に往時を偲ばせ顔に勇ましく碑が立つ。碑は圓形の臺石上に碇を置き東郷大將の書になる「旅順港口閉塞記念」の八字を刻んでゐる。

南山戰蹟碑＝金州驛より七丁南山の項上近く南山神社があり頂に戰蹟碑が聳えてゐる塔の前に立つと露軍の掘つた塹壕の跡消えもやらず松林の間に隱見して當時のことがさまざまに想像される。

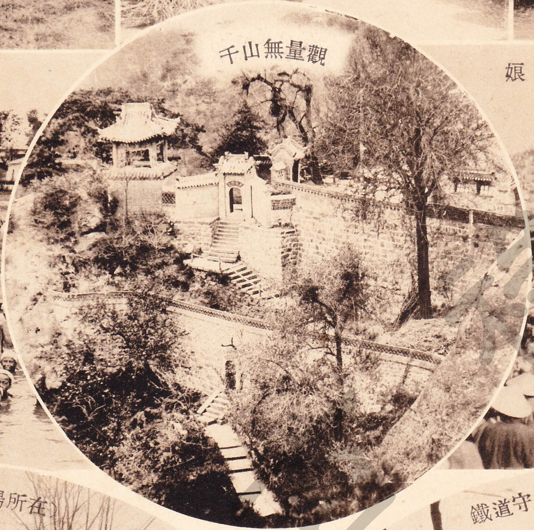
埔里文庫

邦人農村愛川村＝金州驛から二里十五丁、耕地は水田六十五丁歩、畑八十丁歩。村民は頗る樂しい生活を營んでゐる。• **普蘭店の鹽田**＝關東州は風土氣象が天日製鹽に好適してゐるので海岸到るところ製鹽が盛である。州内の年產額約五億斤であるが將來は十億斤に達[illegible]であらふ。• **熊岳城温泉**＝滿鐵沿線には湯崗子熊岳城五龍背の三温泉がある。何れもアルカリ性温泉である。湯崗子の設備の豪華なる熊岳城の砂湯に自然の趣致豊かなる五龍背の閑靜なる風光に惠まれたる夫々特色があつて滿洲人士の療養行樂の別天地となつてゐる。• **千山無量觀**＝千の峻峰連なり全山に四十八溪、五寺十觀四庵九宮いづれも峰のふところに仙境を示現する。中にも無量觀は寺域の勝と堂宇の麗とに*


邦人農村愛川村

普蘭店の鹽田

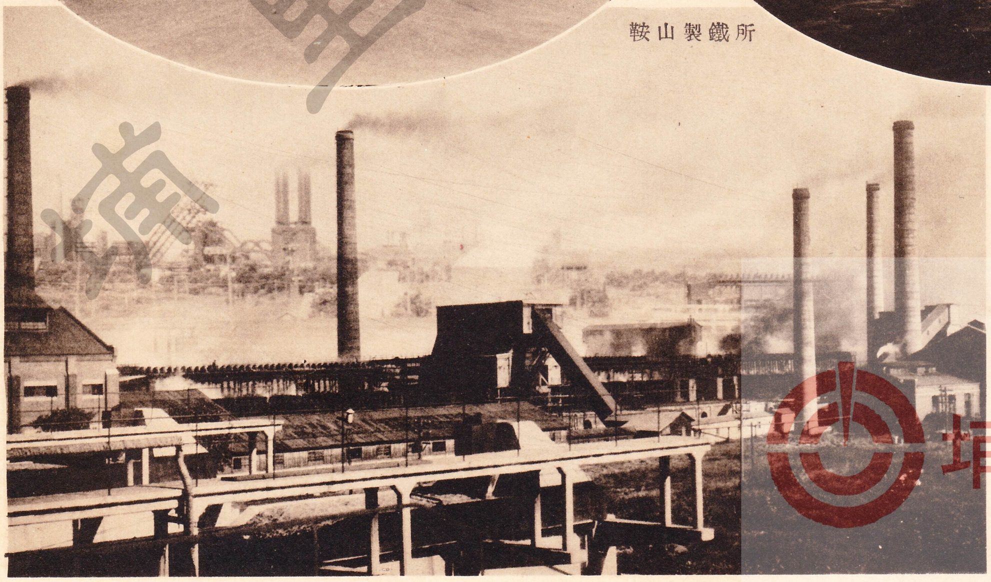
熊岳城温泉


千山無量觀

娘々祭り

駐剳師團司令部（遼陽所在）

鐵道守備隊司令部（公主嶺所在）


鞍山製鐵所

*最も名だゝるところ。• **娘々祭り**＝楡の若葉の風薫る陰曆四月なかばに行はれる。大石橋迷鎭山はその最も名高いもので全山參籠の人と馬車とに埋められる。

鞍山製鐵所＝百五十萬坪の工場構内に七千の人員が汗と闘つてゐる。煙と騷音と、機械と人體とのすさまじい渦卷である。三億噸の鐵礦に惠まれ、鞍山式の還元焙燒法及磁力選鑛法の案出に依つて將來の經濟的操業が確認せられた。

埔里文庫

奉天停車場前廣場 • 奉天に於ける關東軍司令部 • 東陵＝奉天城東三里の地点にある。規模雄大建築彫刻物莊嚴華麗を極め塋城物古りて松翠深く風景甚だ秀でゝゐる。清の大祖高皇帝の神靈を祀る。城北一里のところにある北陵は太宗文皇帝を祀るところ。東陵と同種同型のものである。 **• 龍首山**＝鐵嶺の郊外にある。展望に勝れ山頂に慈清寺醉翁樓等がある。附近の日支住民の遊園地として珍重するところである。**• 公主嶺農事試驗場**＝滿蒙產業開發のために滿鐵會社が經營する農場である。面積四十萬坪我國に比類のない大規摸なも*

奉天停車場前廣場

奉天に於ける關東軍司令部

東　陵

公主嶺農事試驗場

龍　首　山

*ので廣くその名を知られてゐる。事業は畜產、農藝化學、病理、昆虫、種藝に關する調査試驗及研究などである。
• 四平街停車場＝東部蒙古への入口である。當驛構內に於て四洮線が連絡する。
• 長春停車場構內＝吉林から哈爾濱から奉天から系統の違つた三つの瀛車が相會し相別れて*

四平街停車場

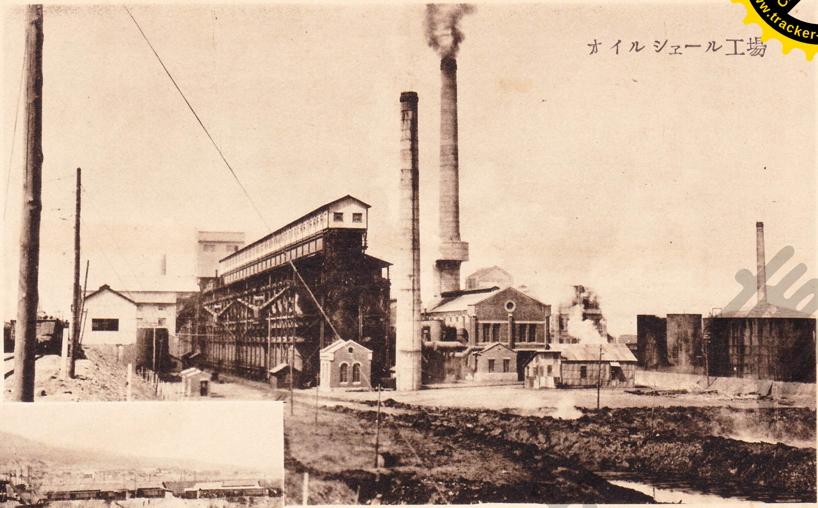
*旅人はおのがじし群れては流れてゆく特產物の出盛りには此驛の連絡貨物積換作業等繁忙の極に達する。南滿線の終點にあたり最前線に立つてゐるところに此の驛の重要性がある。

長春停車場構內

長春停車場構內

埔里文庫

オイルシェール工場＝四百五十呎の厚さで炭層の上盤に伏在してゐる油母頁岩の埋藏量五十億噸あるを利用して、重油、パラフィン、硫安、骸炭を採取してゐる。これが事業化のためには數年間研究を積み撫順式乾餾法の發明完成を見るに至つた。（撫順所在）•**撫順炭礦露天堀**＝撫順炭坑は年額七百萬噸に達してゐる炭層の厚いところでは四百尺もあり平均百三十尺約十億噸を包藏してゐる。十坑五採炭所の内、露天堀はその採炭方法に於て珍らしいものである。•**安奉線橋頭風景**＝安奉沿線は山水明媚頗る風光に富む。わけて*



オイルシェール工場

撫順炭礦露天堀

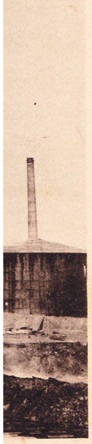
安奉線橋頭風景

鴨綠江の鐵橋

營口埠頭

*釣魚臺は細河狹谷の中で最も絕景とせられてゐる。•**鴨綠江の鐵橋**＝朝鮮と滿洲とを繫ぐ八町余間の大鐵橋橋桁十二連其内の一連は一日四回開閉して船舶の航行を自由ならしめてゐる。歌に知らるゝ筏流しは六七、八月にかけて約六千臺と云はれる。•**營口埠頭**＝滿洲事變で印象深いところである。遼河下流の貿易港で大連、安東とゝもに滿洲の三大港として知られてゐる。

埔里文庫



工場

沖・横川・志士の碑

吉林松花江の筏

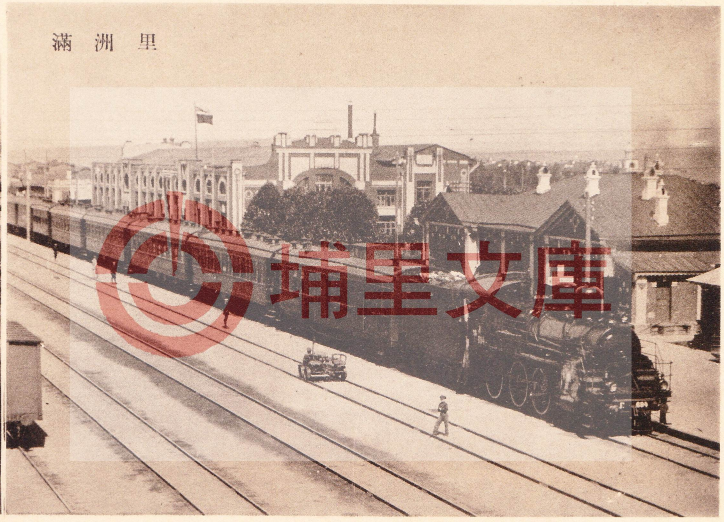
哈爾濱

吉敦沿線の大森林

吉林松花江の筏＝吉林は此の地方行政と經濟の中心地で木材の都である。松花江上流の大森林から伐り出される木材が此の地に留りまた下流へ流送される狀は宛ら筏の洪水である**・吉敦沿線の大森林**＝吉林と敦化とを繫ぐ二百十粁の吉敦沿線は牡丹嶺山脈を横斷する高原地帶である。威虎嶺を中心として大森林が連なり、こゝから伐り出される木材は夥しい數に上る。**・哈爾濱**＝南は長春より南滿線に東は遙かウラジヲストークへ、西は一路歐露へと目ざす交通上の結節點として都市發展の地理條件を具へて今日見るが如き國際都市を形成した。　伊藤公に、横川、沖の志士に邦人の腦裡に深く印刻せられてゐる。**・ポクラニーチナヤ**＝東支線の滿洲東端驛である。山の傾斜面に形成された瀟洒たる街である。**・齊々哈爾**＝奉天、錦洲とゝもに滿洲事變に印象深いところ。黑龍江省城の所在地人口十萬と稱される。**・滿洲里**＝東支線の出發点であり、西比利亞鐵道によつて直に歐洲に通じる。市街には露西亞人の住む者多く我が西比利亞出兵當時の記念碑がある。

ポクラニーチナヤ

齊々哈爾

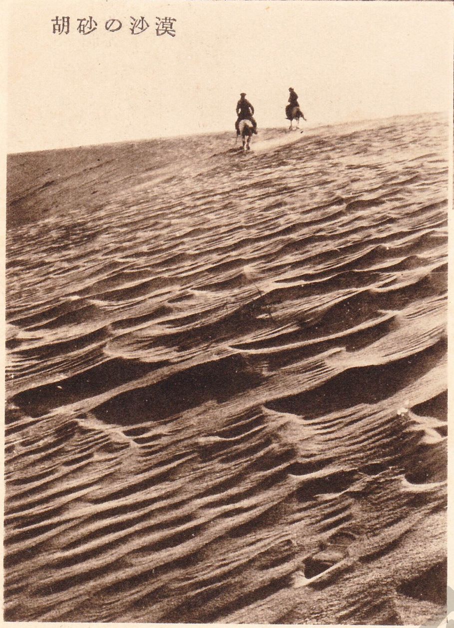


滿洲里

埔里文庫

蒙古の放牧＝蒙古の生活の本位は牧畜である。家畜は蒙古人の富である。されば彼等の挨拶も先づ家畜の安否を問ふにあるとい[illegible]放牧の數は東部蒙古だけでも馬八十萬、牛百十二萬、羊二百萬頭を算するといふ。　● **胡砂の沙漠**＝鄭家屯の町外れに行けばもう沙漠の氣分[illegible]とが出來る。胡沙といふのは即ちゴビの砂のこと、時折內地にも黄色い雨となつて降る。　● **蒙古包**＝は一部蒙古人の使用する移動式住宅であつて折疊が出來る。布、皮、絨毯などが木骨の上に引きまわされてある。乾燥した砂上に水と草とを求めて轉々ジプシーのやうな生活を續けなければならぬ彼等にとつてこれは最も適した住宅である。

蒙古の放牧


胡砂の沙漠

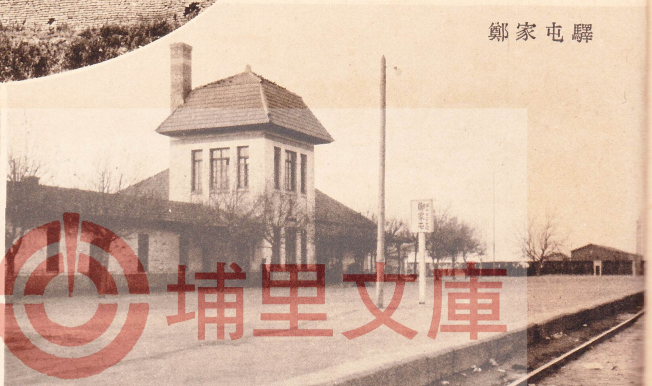
蒙古包

喇嘛塔

喇嘛塔＝遙けき野邊に喇嘛塔を望むことは滿蒙の旅にとりて一つの情趣である。蒙古人懷柔のために清朝が利用しその慓悍な民族性を滅失せしめた政策に出でたものと云はれる喇嘛教の一つのシンボルだ。堂塔は隨所に見受けられる。　● **洮南の街**＝四洮線の終端。市街は周圍五支里の土壁を以て繞らされてゐる。人口四萬穀物牛馬羊豚皮革類等の集散地である。

鄭家屯驛＝四平街から八十八粁の地点。市街は驛數丁のところ城壁もなく街衢不規則である。人口四萬五千日本人百五十余人滿鐵公所も置かれてある。

洮南の街


鄭家屯驛

通遼の街＝四洮鐵道鄭通枝線の終点。打通線が敷設せられて渤海北岸への通路が開けるに及び俄然殷賑を加へた。街區整然新興の氣に充ち人口は五萬に近い。● **打虎山**＝奉山本線の一寒驛であつたが打通線が敷設せらるゝや頓に重要性を帶ぶるに至つた。人口約五千。

通遼の街

打虎山

葫蘆島

溝帮子驛

溝帮子驛＝奉山鐵道の一驛營口へ九一粁の支線の分岐点として從來は滿鐵にとりて頗る印象の地点であつた。● **葫蘆島**＝元東北軍の海軍根據地としてまた支那側が大連港に對立する商業港滿鐵包圍鐵道と共に計劃した重用なるところであつた。築港工事は今尚ほ繼續してゐる。

山海關天下第一關

熱河避暑山莊

山海關天下第一關＝有名な萬里長城の東端である。市街は名所に適しい古さびた趣に富む。人口約三萬日本の守備隊も置かれてゐる。● **熱河避暑山莊**＝熱河の郊外山紫水明の灤河の上流に在る清朝皇帝の避暑地として選まれた仙境である豪華な建築の樣々にありし日の盛事が偲ばれる。

埔里文庫

埔里文庫

昭和七年五月一日印刷
昭和七年五月十日發行
昭和七年十一月二十五日再版發行

非賣品

編著者　南滿洲鐵道株式會社總務部庶務課

發行者　南滿洲鐵道株式會社

印刷者　大阪市浪速區惠美須町二丁目細谷龜太郎

南滿洲鐵道株式會社發行

PDF-XChange Editor
Click to BUY NOW!
www.tracker-software.com

埔里李百祿文庫

埔里文庫

埔里 李百祿 文庫
古建築收拾大隊協力

PDF-XChange Editor
Click to BUY NOW!
www.tracker-software.com